

北海道 北広島市 公共交通市民意識調査 結果報告書 (令和4年1~2月実施)



The Ambitious City

—大志をいだくまち— HOKKAIDO 北広島市

1 調査概要

(1) 調査目的

利用者の減少により、赤字額が増大している市内のバス路線について、今後のバス路線のあり方について検討する必要があることから、市民意識調査を実施する。

(2) 調査日時

調査期間 令和4年1月17日（月）
～令和4年2月10日（木）

(3) 調査対象

北広島団地地区と東部地区に居住する2,000世帯を無作為抽出
配布部数4,000部(1世帯に2部ずつ配布)
・北広島団地地区：2,400部(1,200世帯)
・東部地区：1,600部(800世帯)

(4) 調査方法

対象世帯に対して郵送配布し、郵送回答又は電子回答により、調査を実施

配布数：4,000部(2,000世帯)

回収数：1,477部

【うち郵送】812世帯 1,286部(回収率32.2%)

【うち電子】191部(回収率4.8%)

回収率：37.0%

(5) 調査項目

1 回答者属性

問17 年齢・・・2P	問18 性別・・・3P
問19 職業・・・4P	問20 居住地・・・5P
問21 運転免許証の保有状況・6P	問22 自動車の保有状況・6P

2 バスの利用について

問1 普段バスを利用するか・・・7P
問2 バスを利用しない理由・・・9P
問3 どうなったらバスを利用しようと思うか・・・10P
問4 あったら良いと思うバスの利用促進策・・・11P
問5 バスを利用する目的・・・12P
問6 バスを利用する理由・・・13P
問7 バスを利用する時間帯・・・14P
問8 よく利用する路線・・・15P
問9 よく利用する路線の満足度・・・17P
問10 さんぼまち・東部線の現状に対する考え・・・28P
問11 「乗合タクシー」「コミュニティバス」の認知度・・・30P
問12 「乗合タクシー」を利用してみたいか・・・30P
問13-1 使ってみたい時間帯・・・32P
問13-2 使ってみたい目的・・・32P
問13-3 妥当な運賃・・・33P
問14 車や運転免許証がなくても、
暮らしやすくするために必要な移動手段・・・34P
問15 今後の望ましい公共交通の形態・・・37P

(6) 集計方法

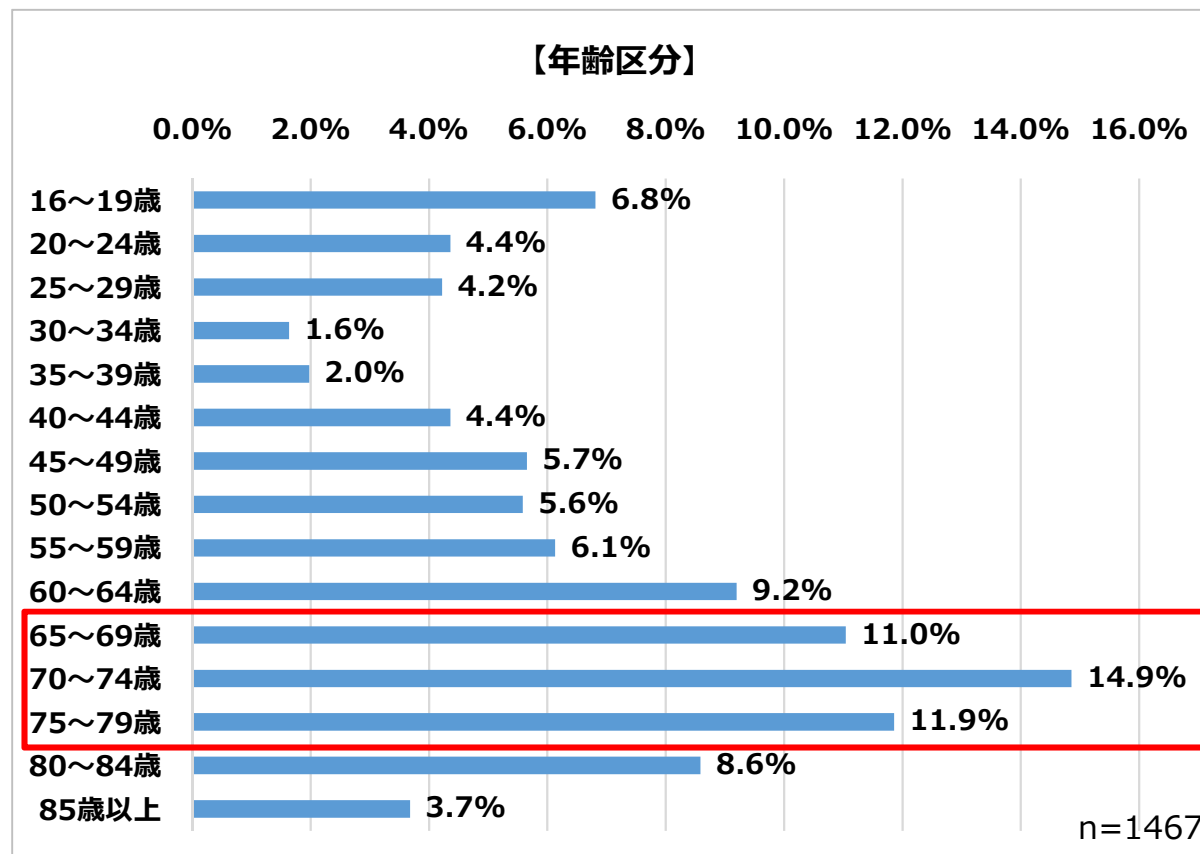
※グラフの「nの値」は回答の総数を指し、無回答や無効回答などは除いた数

※SAはシングルアンサー（Single answer）の略で質問に対して回答が1つのもので、MAはマルチアンサー（Multi answer）の略で複数回答可の質問

2 分析結果 【1 個人属性】

(問17) 年齢 (SA)

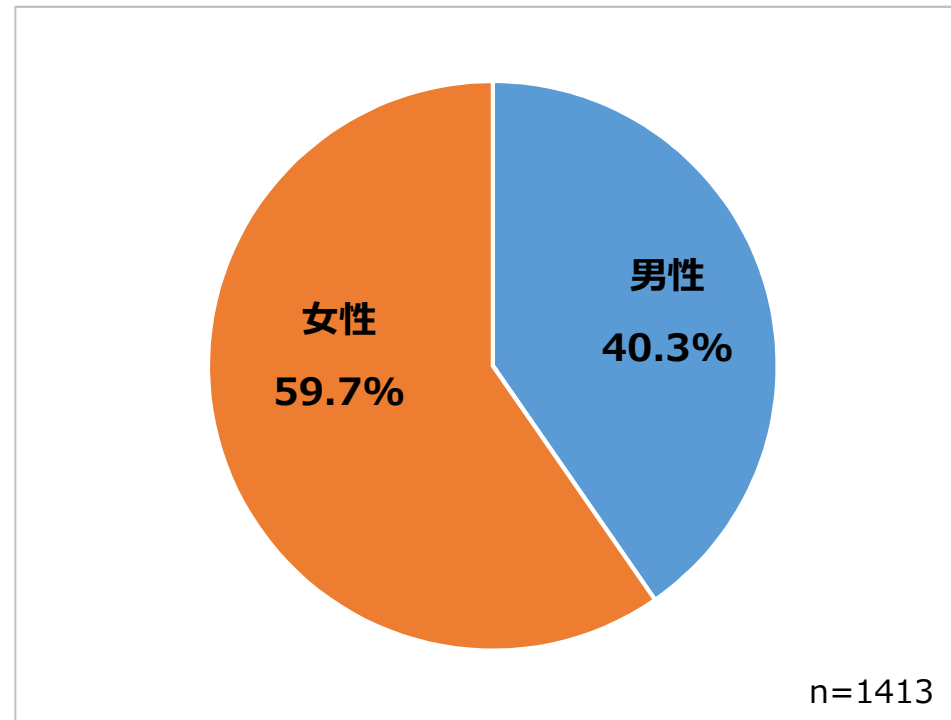
- ・回答者の年齢については、70~74歳(14.9%) が最も多く、次いで75~79歳(11.9%)、65~59歳(11.0%)となっている。



2 分析結果 【1 個人属性】

(問18) 性別 (SA)

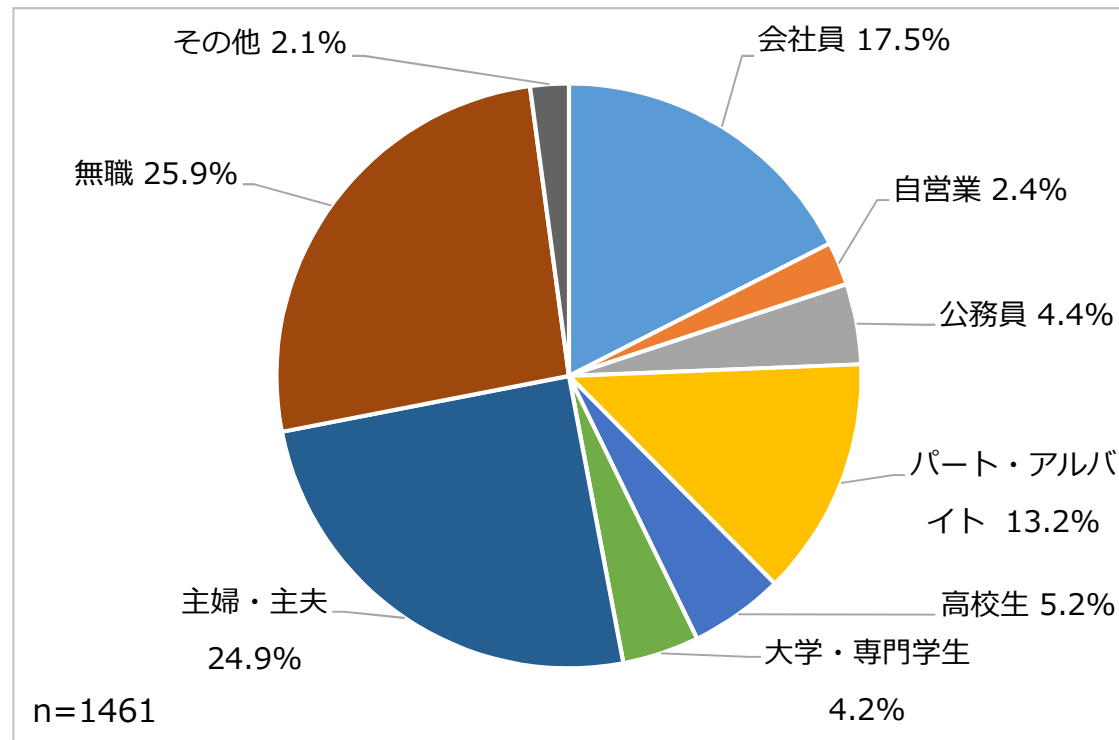
- ・ 回答者の性別については、男性(40.3%)、女性(59.7%)となっている。



2 分析結果 【1 個人属性】

(問19) 職業 (SA)

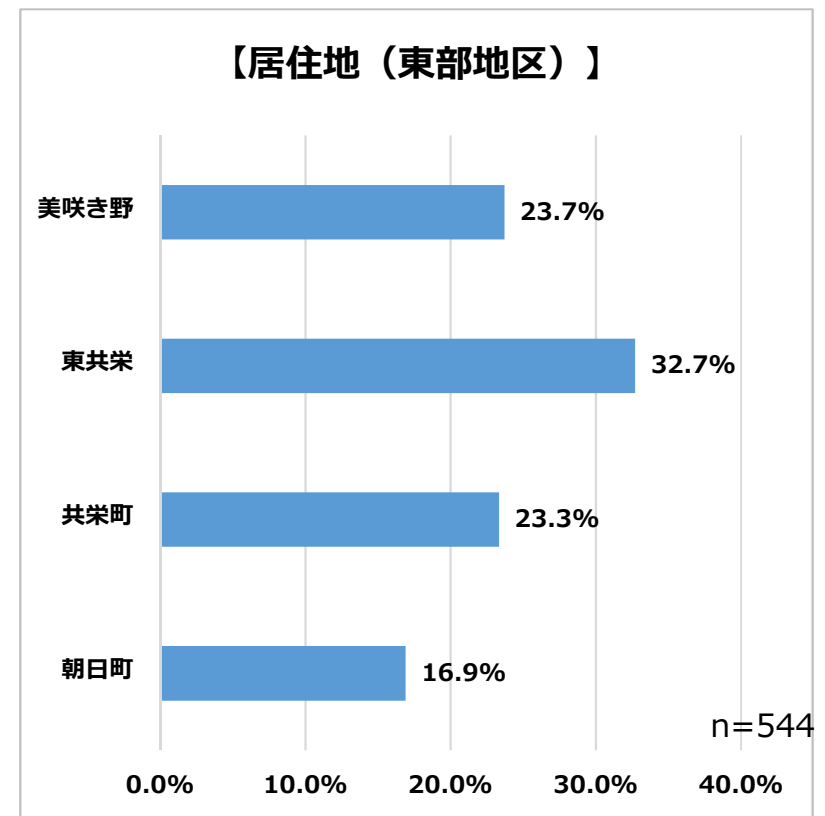
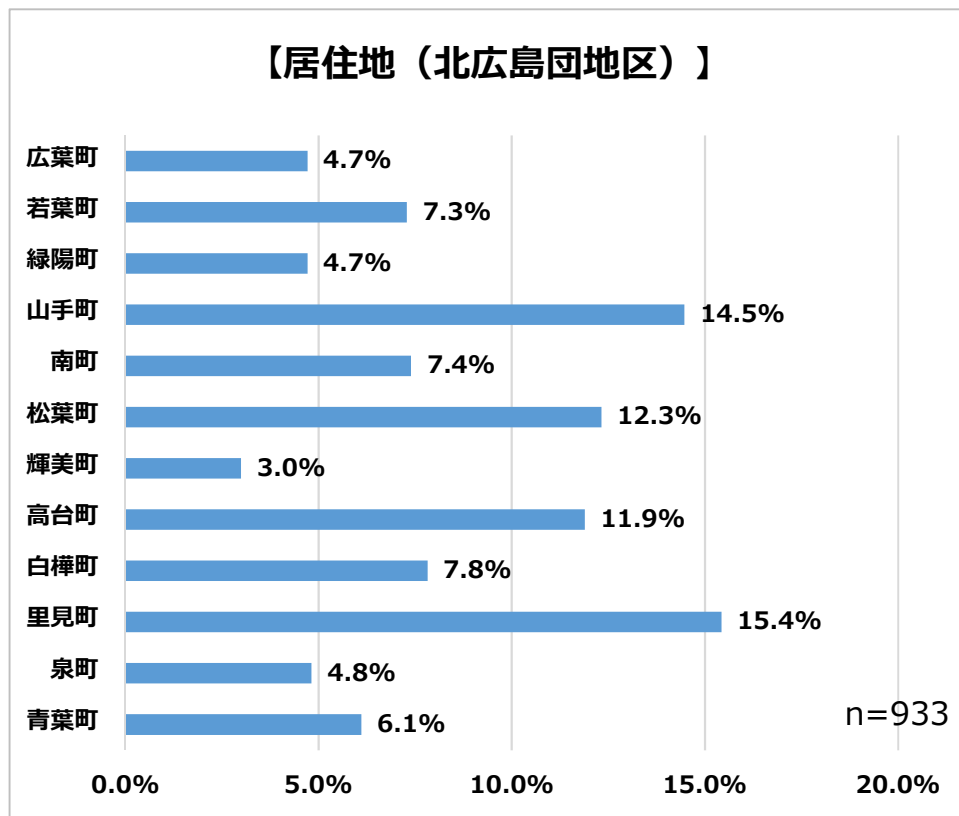
・回答者の職業については、無職(25.9%)が最も多く、次いで、主婦・主夫(24.9%)、会社員(17.5%)となっている。



2 分析結果 【1 個人属性】

(問20) 居住地 (SA)

- ・回答者の居住地については、北広島団地地区については里見町(15.4%)が最も多く、次いで山手町(14.5%)となっている。
- ・東部地区については、東共栄(32.7%)が最も多く、次いで、美咲き野(23.7%)となっている。



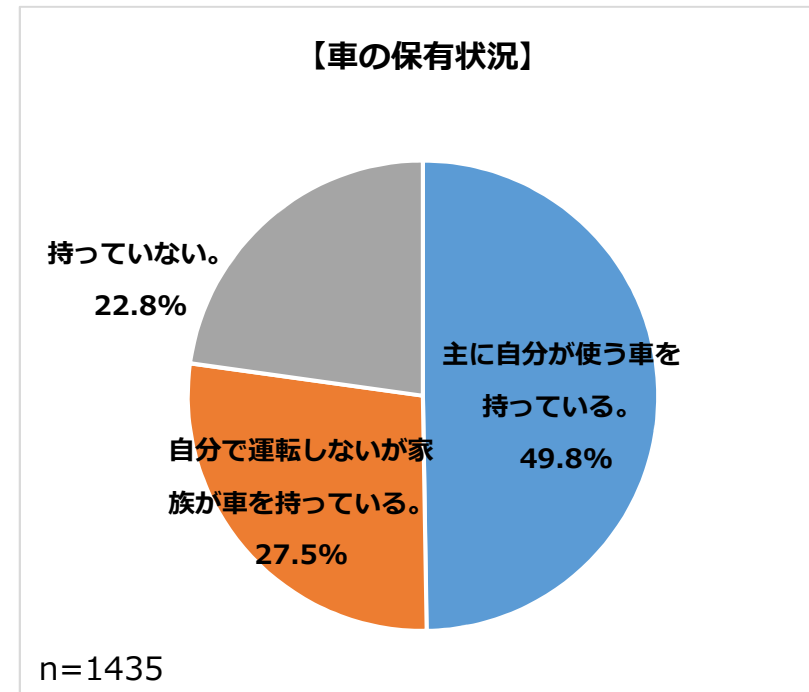
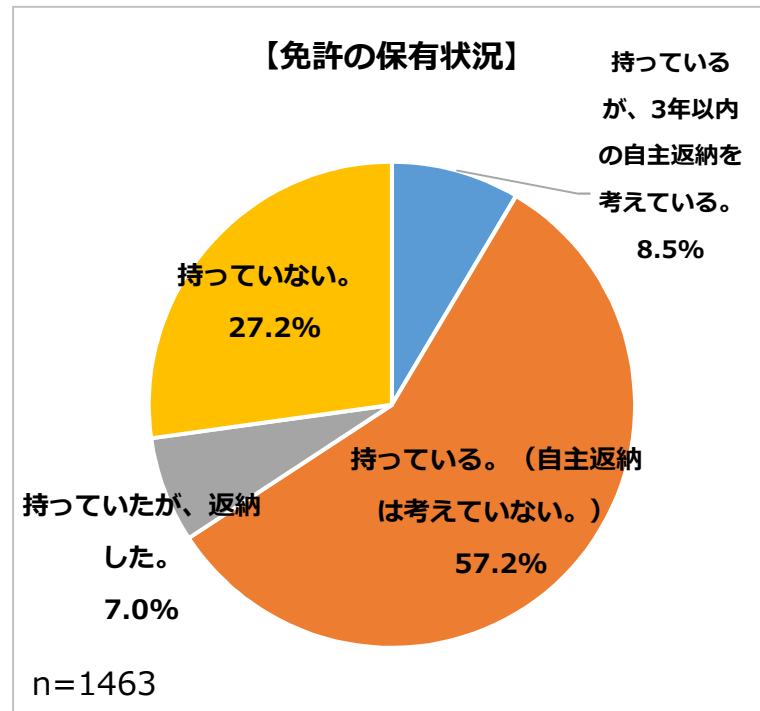
2 分析結果 【1 個人属性】

(問21) 運転免許証の保有について (SA)

(問22) 車の保有状況について (SA)

・回答者の免許の保有状況については、持っている。(自主返納は考えていない)(57.2%)が最も多く、次いで、持っていない(27.2%)となっている。

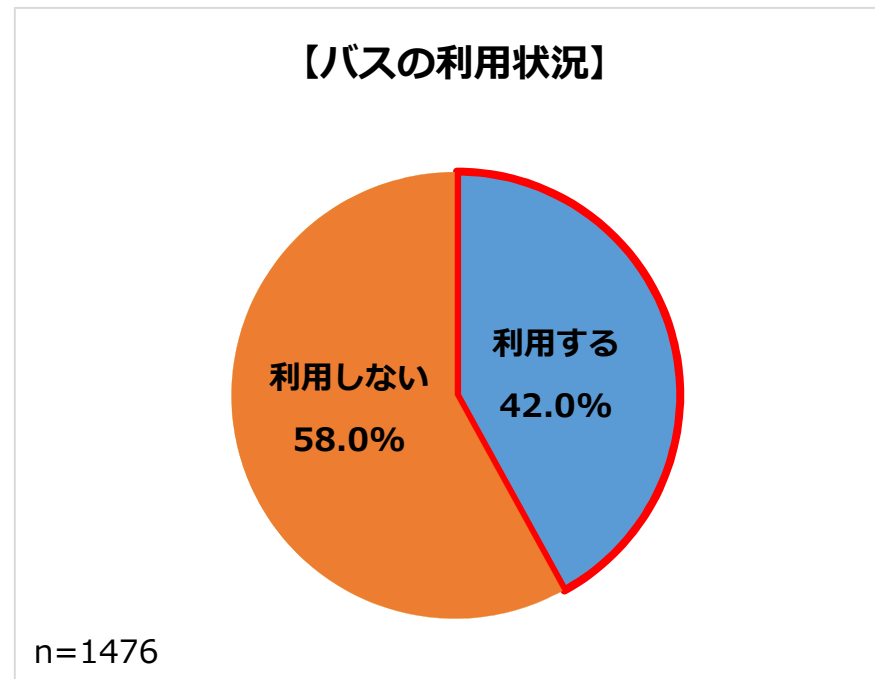
・回答者の自動車の保有状況については、主に自分が使う車を持っている(49.8%)が最も多く、次いで、自分で運転しないが家族が車を持っている(27.5%)となっている。



2 分析結果 【2 バスの利用について】

(問1) バスの利用について (SA) (全体)

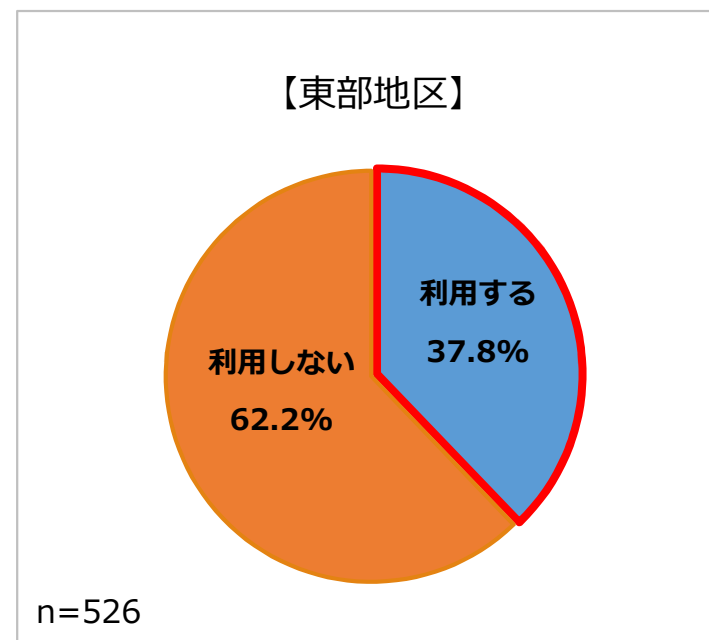
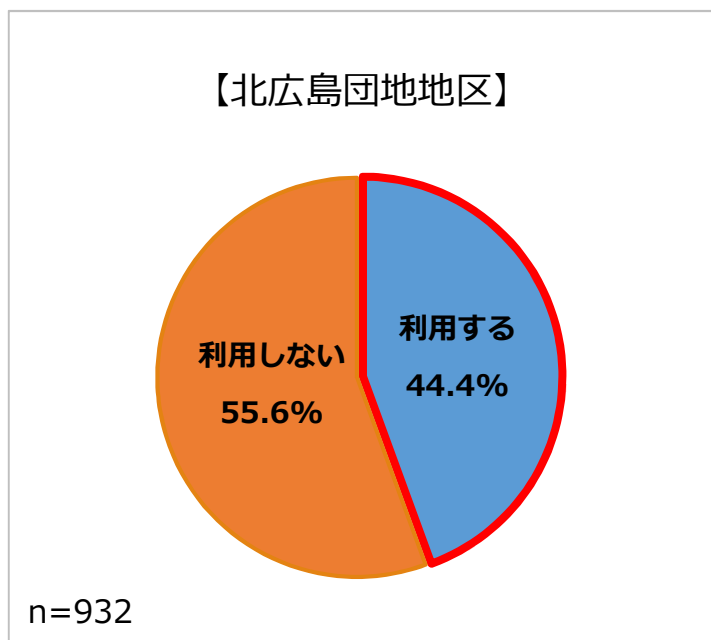
- ・回答者のバスの利用状況については、利用する(42.0%)、利用しない(58.0%)となっており、利用しない割合が約6割を占めている。



2 分析結果 【2 バスの利用について】

(問1) バスの利用について (SA) (地区別)

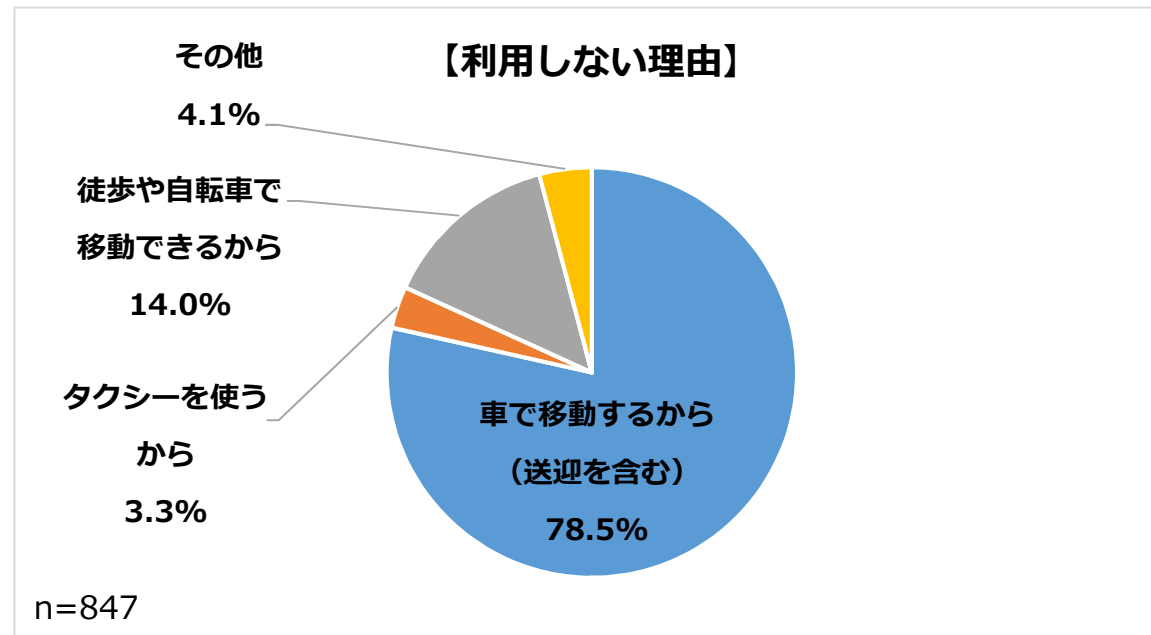
・地区別の利用状況については、利用すると回答した割合は、北広島団地地区では44.4%、東部地区では37.8%となっている。



2 分析結果 【2 バスの利用について】

(問2) バスを利用しない理由 (SA)

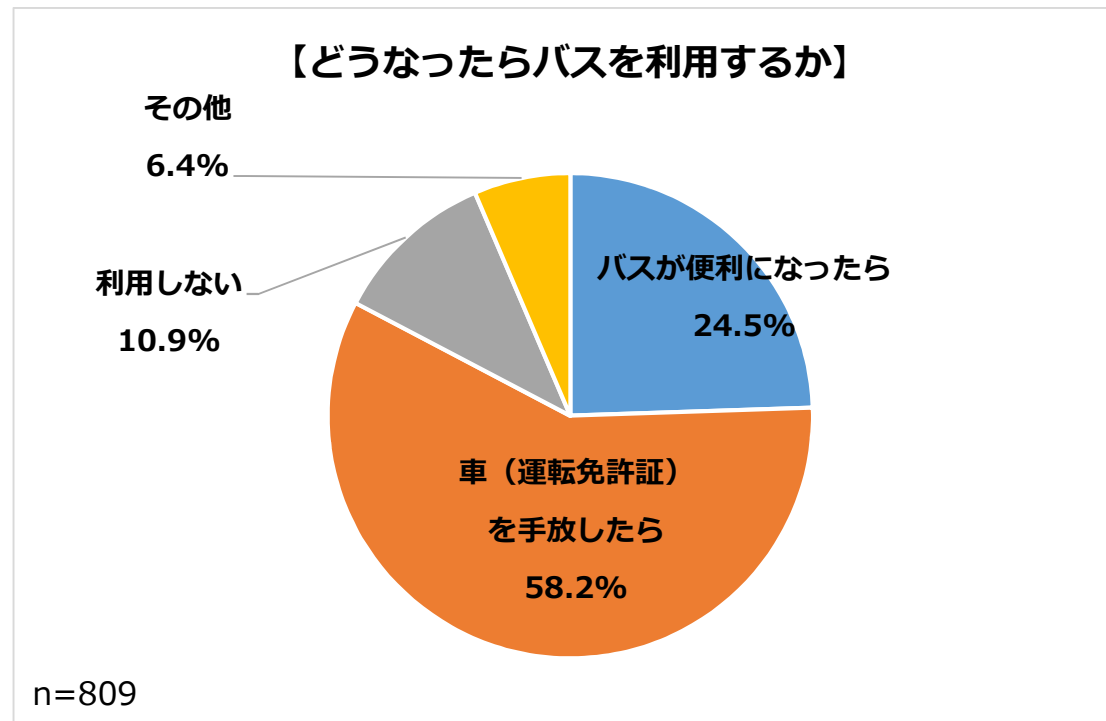
・バスを利用しないと回答した者が、利用しない理由については、車で移動するから(送迎含む)(78.5%)が約8割を占めており、次いで、徒歩や自転車で移動できるから(14.0%)となっている。



2 分析結果 【2 バスの利用について】

(問3) どうなったらバスを利用しようと思うか (SA)

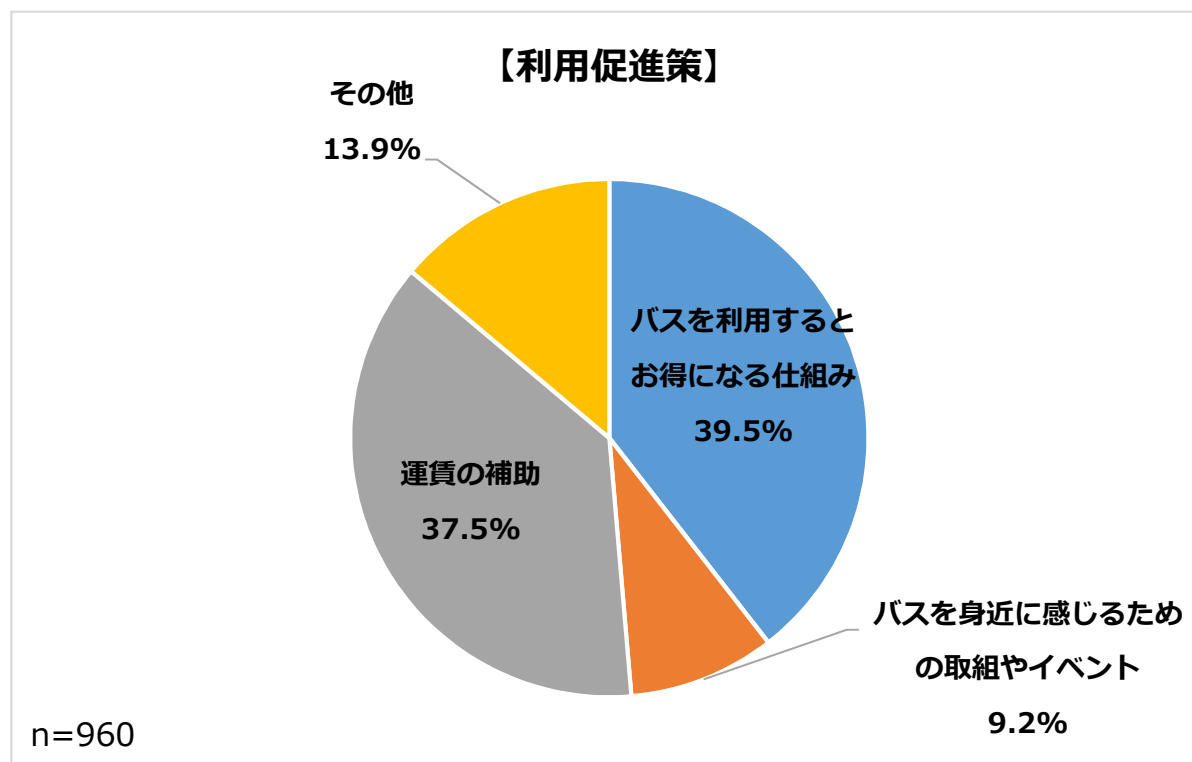
・バスを利用しないと回答した者が、どうなったらバスを利用しようと思うかについては、車(運転免許証)を手放したら(58.2%)が最も多く、次いで、バスが便利になったら(24.5%)となっている。



2 分析結果 【2 バスの利用について】

(問4) バスの利用促進策について (MA)

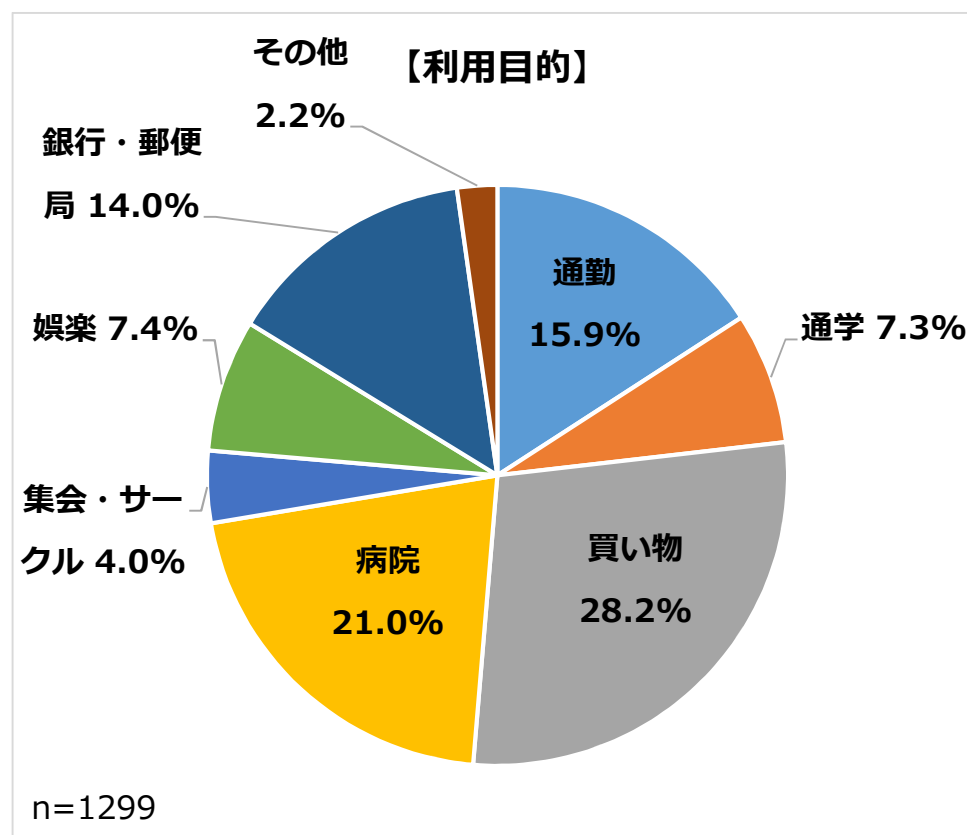
・バスを利用しないと回答した者が、あったらいいと思うバスの利用促進策は、バスを利用するとお得になる仕組み(39.5%)が最も多く、次いで、運賃の補助(37.5%)となっている。



2 分析結果 【2 バスの利用について】

(問5) バスを利用する目的 (MA)

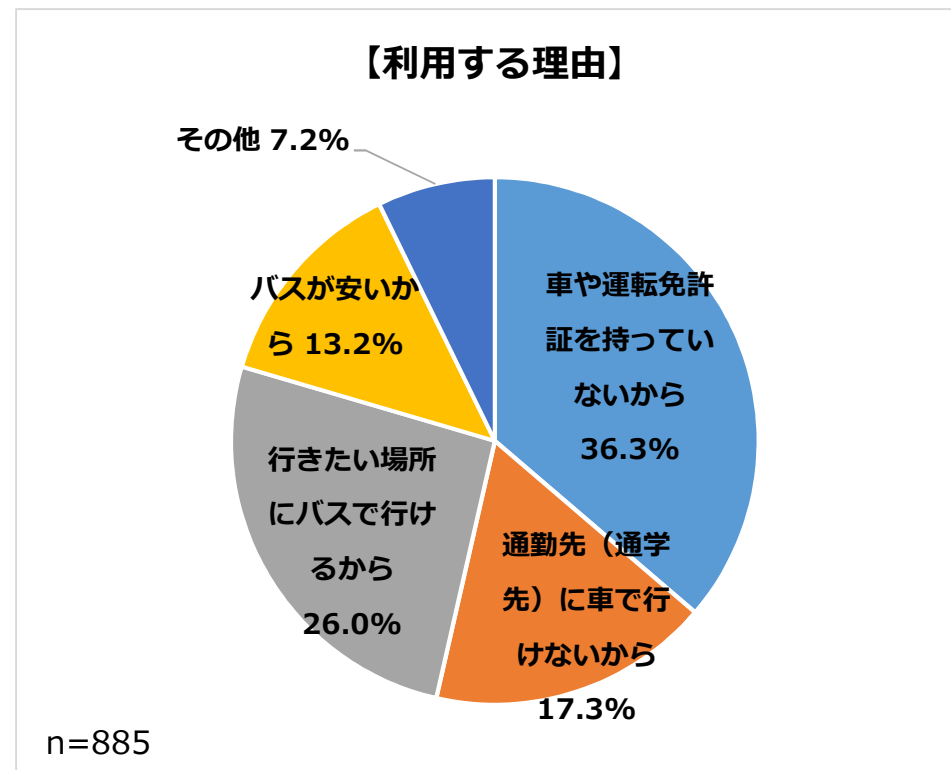
・回答者のバスの利用目的については、買い物(28.2%)が最も多く、次いで、病院(21.0%)、通勤(15.9%)となっている。



2 分析結果 【2 バスの利用について】

(問6) バスを利用する理由 (MA)

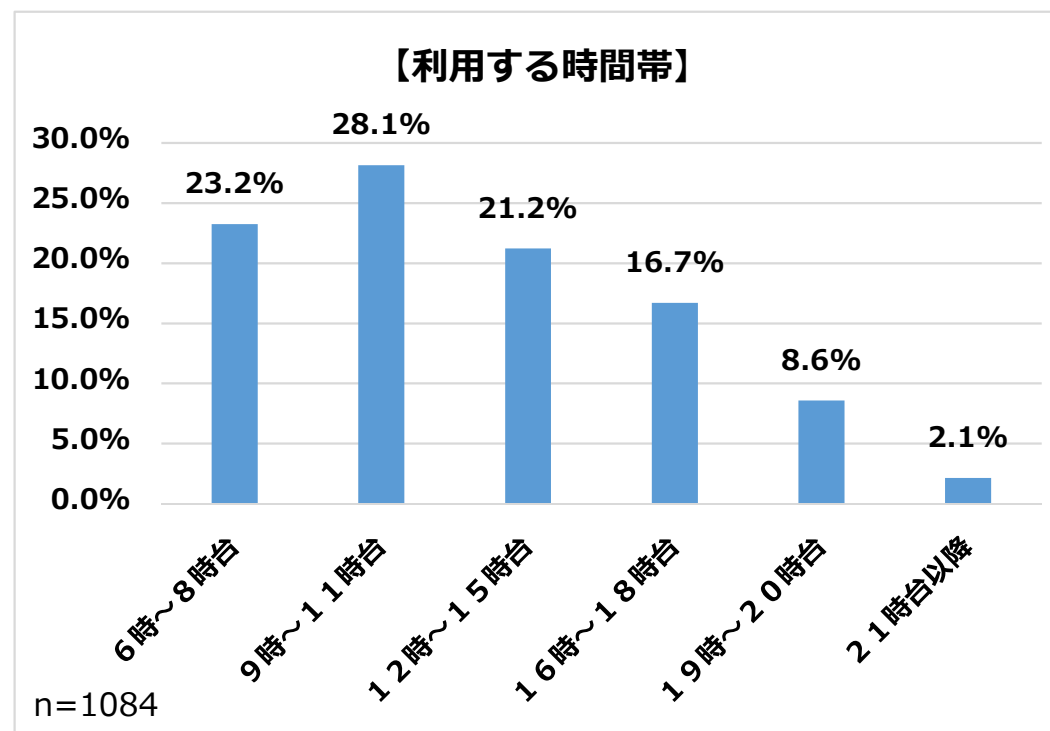
・回答者のバスを利用する理由については、車や運転免許証を持っていないから(36.3%)が最も多く、次いで、行きたい場所にバスで行けるから(26.0%)、通勤先(通学先)に車で行けないから(17.3%)となっている。



2 分析結果 【2 バスの利用について】

(問7) バスを利用する時間帯 (MA)

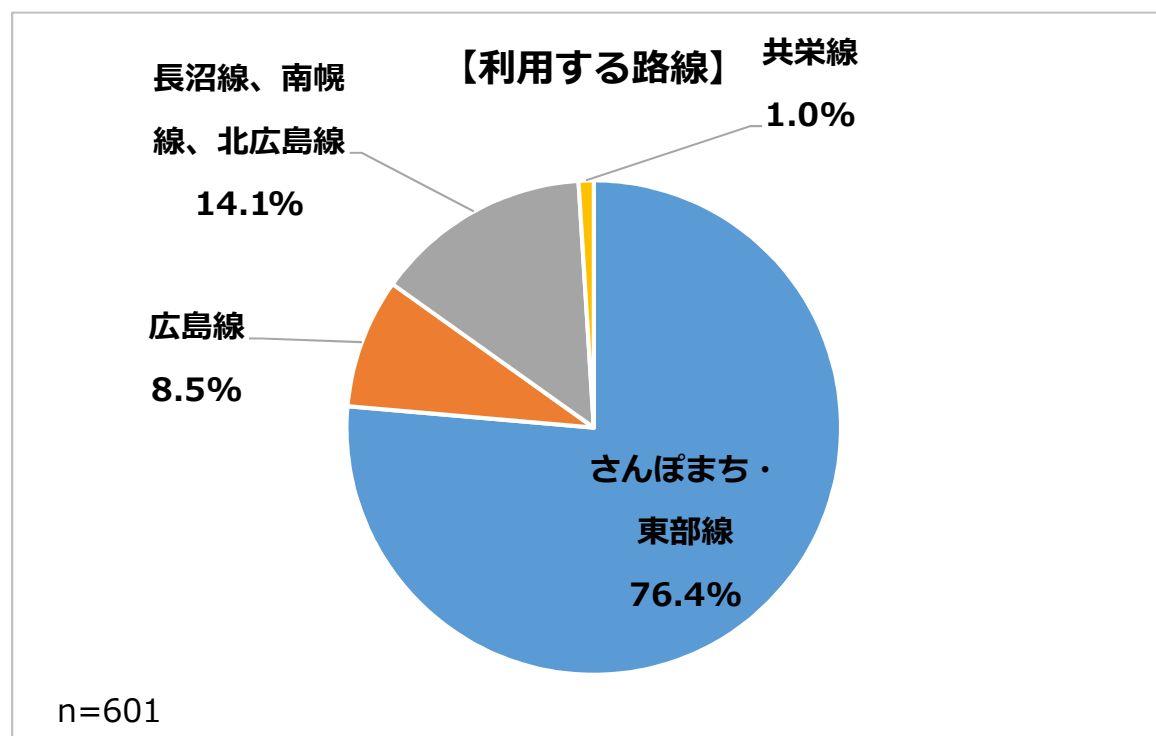
- ・回答者のバスを利用する時間帯については、9時～11時台(28.1%)が最も多く、次いで、6時～8時台(23.2%)、12時～15時台(21.2%)となっている。



2 分析結果 【2 バスの利用について】

(問8) よく利用する路線について (SA) (全体)

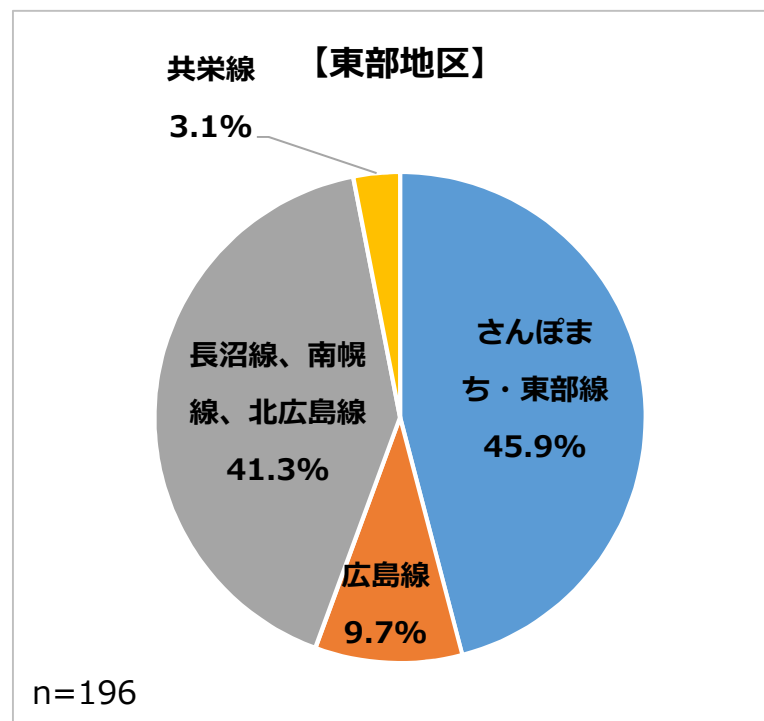
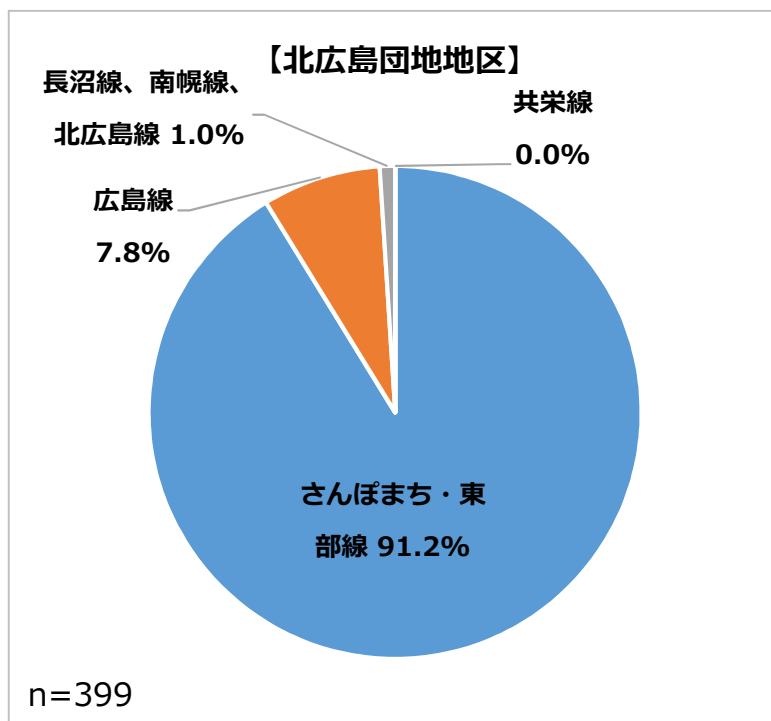
・回答者の利用する路線については、さんぽまち・東部線(76.4%)が最も多く、次いで、長沼線、南幌線、北広島線(14.1%)となっている。



2 分析結果 【2 バスの利用について】

(問8) よく利用する路線について (SA) (地区別)

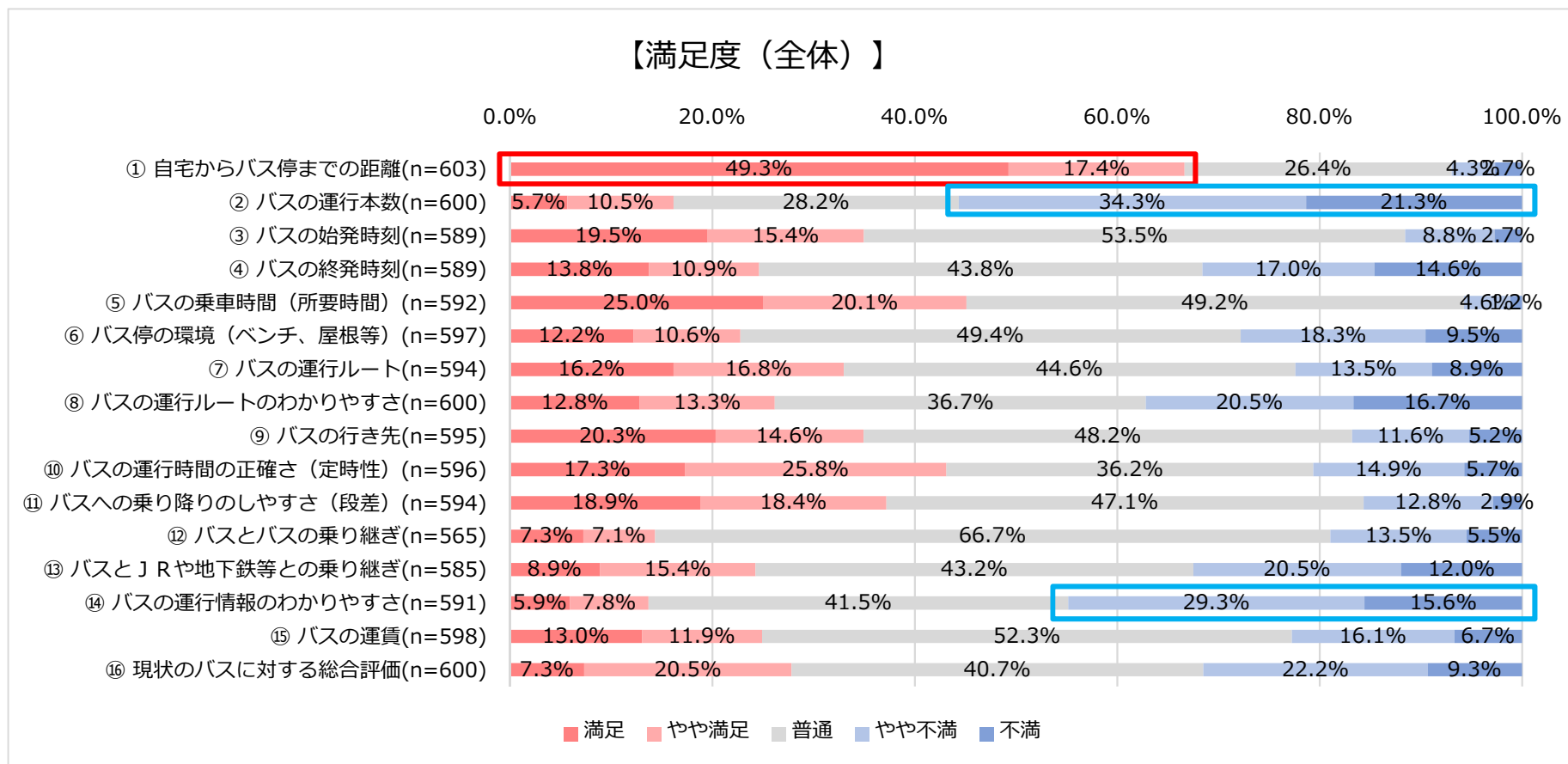
- ・北広島団地区は、さんぽまち・東部線(91.2%)の利用が約9割となっている。
- ・東部地区は、さんぽまち・東部線(45.9%)が最も多く、次いで長沼線、南幌線、北広島線(41.3%)となっている。



2 分析結果 【2 バスの利用について】

(問9) 現状の満足度 (SA) (全体)

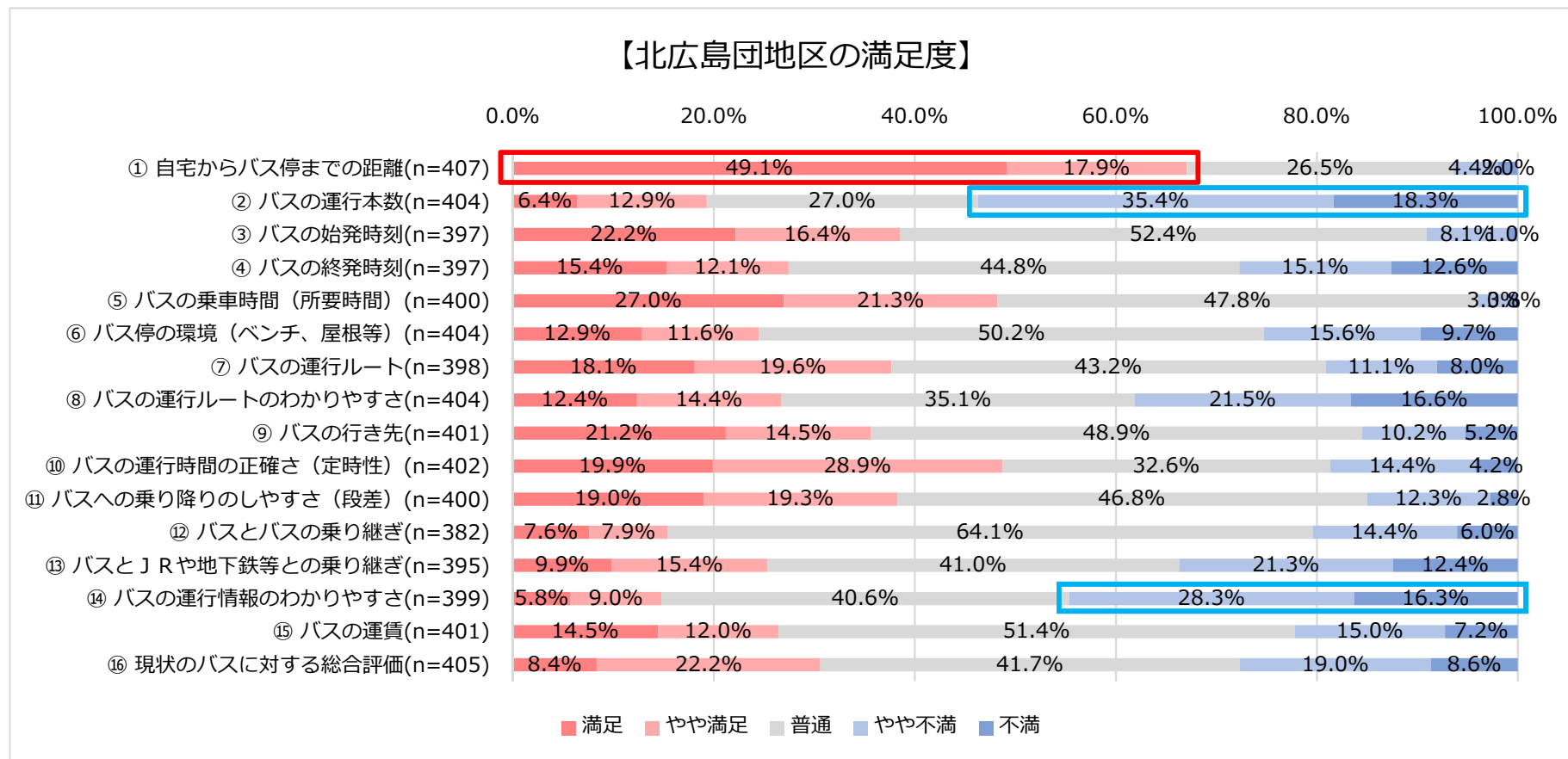
- ・回答者の現在のバス利用に関する満足度は、満足、やや満足を合わせた割合が高い項目として、①自宅からバス停までの距離(66.7%)となっている。
- ・不満、やや不満を合わせた割合が高い項目として、②バスの運行本数(55.6%)、⑭バスの運行情報のわかりやすさ(44.9%)となっている。



2 分析結果 【2 バスの利用について】

【問9】 現状の満足度（SA）【北広島団地地区】

- ・北広島団地地区については、満足、やや満足を合わせた割合が高い項目として、①自宅からバス停までの距離(67.0%)となっている。
- ・不満、やや不満を合わせた割合が高い項目として②バスの運行本数(53.7%)、⑭バスの運行情報のわかりやすさ(44.6%)となっている。

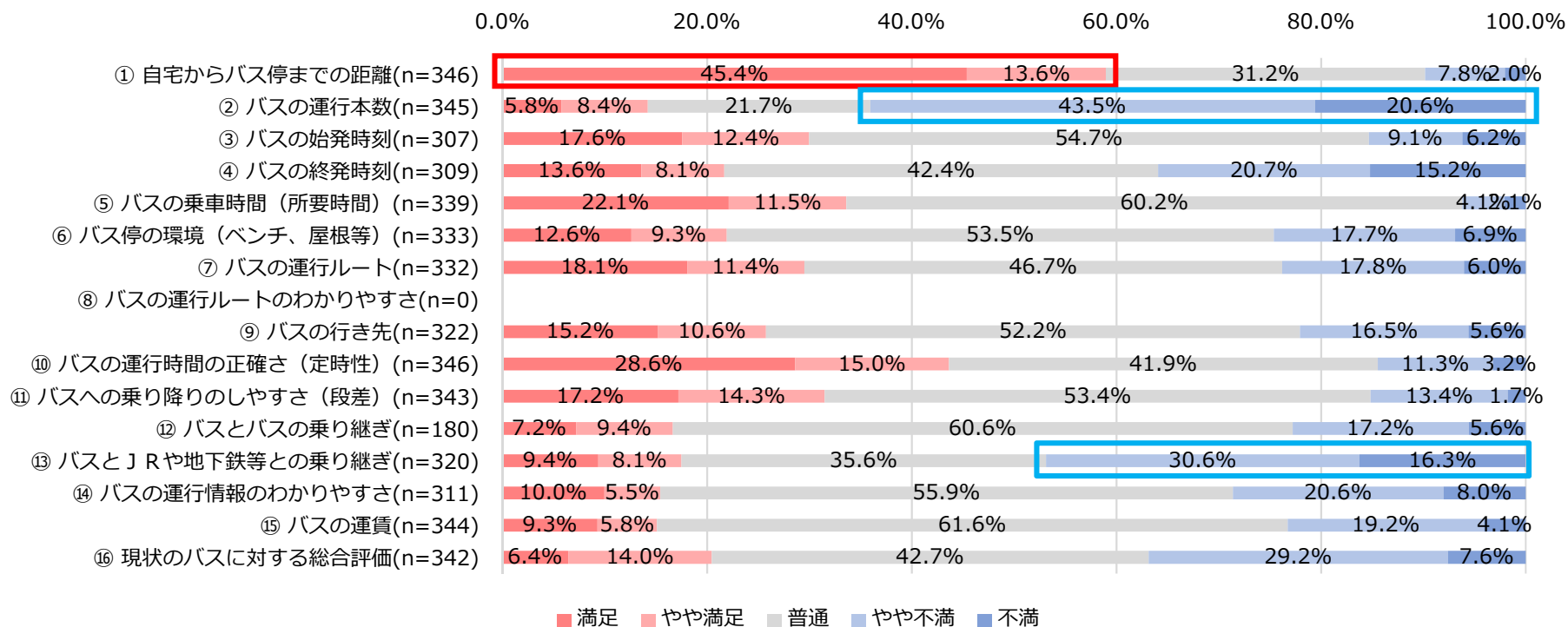


2 分析結果 【2 バスの利用について】

【参考】 前回（平成29年度）調査の結果 （バスを利用すると回答された方に限定した結果）

- ・ 前回調査時の北広島団地地区の満足度については、満足、やや満足を含めた割合が高い項目として、①自宅からバス停までの距離(59.0%)となっている。
- ・ 不満、やや不満を含めた割合が高い項目として②バスの運行本数(64.1%)、⑬バスとJRや地下鉄等との乗り継ぎ(46.9%)となっている。

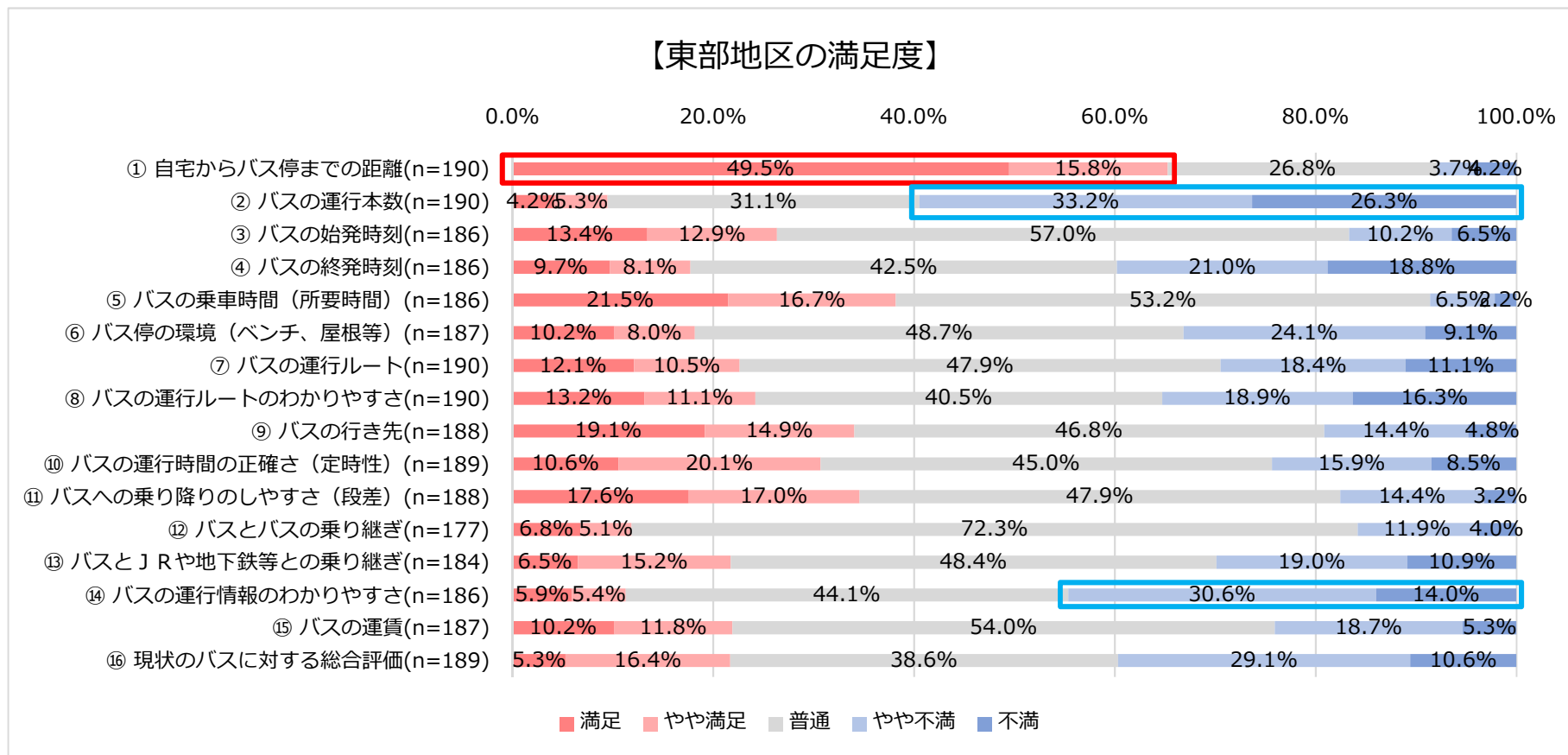
【平成29年度調査時の結果（北広島団地地区）】



2 分析結果 【2 バスの利用について】

（問9） 現状の満足度（SA） 【東部地区】

- ・回答者の現在のバス利用に関する満足度は、満足、やや満足を合わせた割合が高い項目として、①自宅からバス停までの距離(65.3%)となっている。
- ・不満、やや不満を合わせた割合が高い項目として②バスの運行本数(59.5%)、⑭バスの運行情報のわかりやすさ(44.6%)となっている。

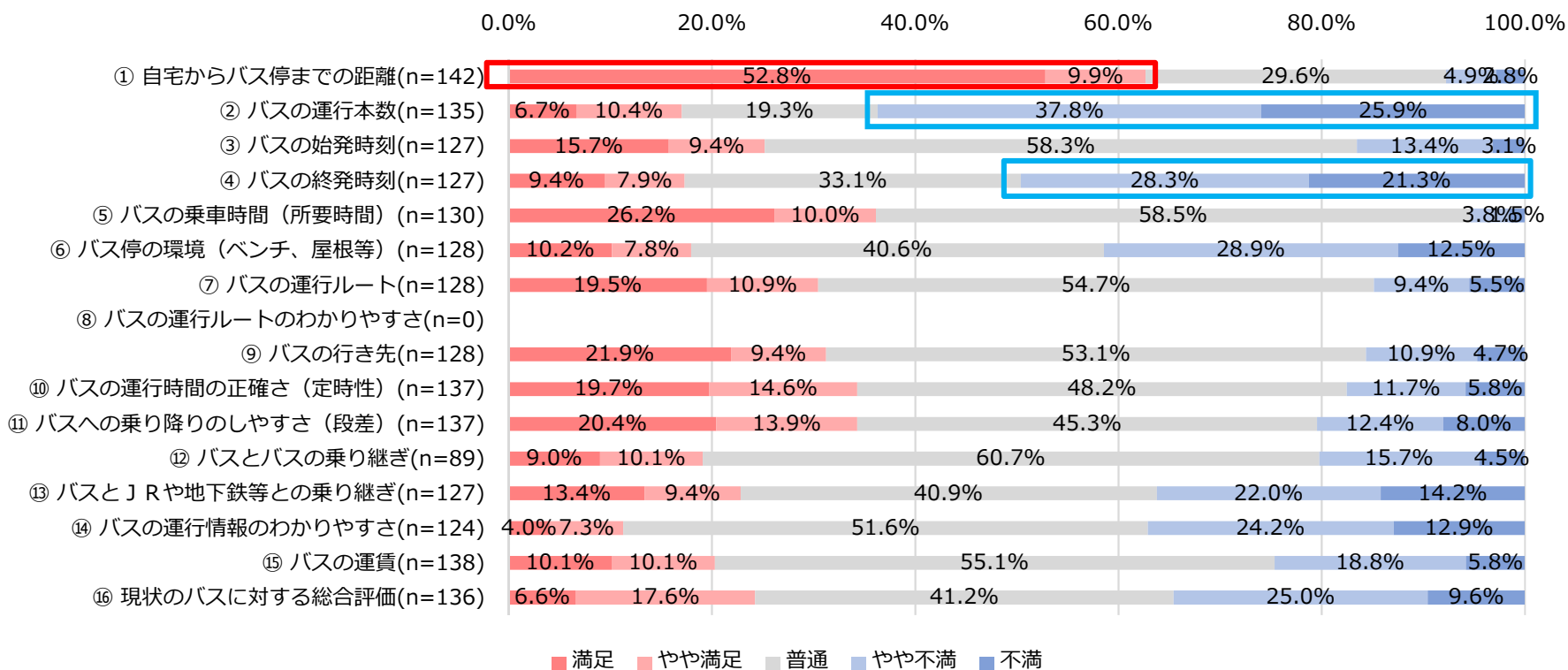


2 分析結果 【2 バスの利用について】

【参考】 前回（平成29年度）調査の結果 （バスを利用すると回答された方に限定した結果）

- ・ 前回調査時の東部地区の満足度については、満足、やや満足を含めた割合が高い項目として、①自宅からバス停までの距離(62.7%)となっている。
- ・ 不満、やや不満を含めた割合が高い項目として②バスの運行本数(63.7%)、④バスの終発時刻(49.6%)となっている。

【平成29年度調査時の結果（東部地区）】

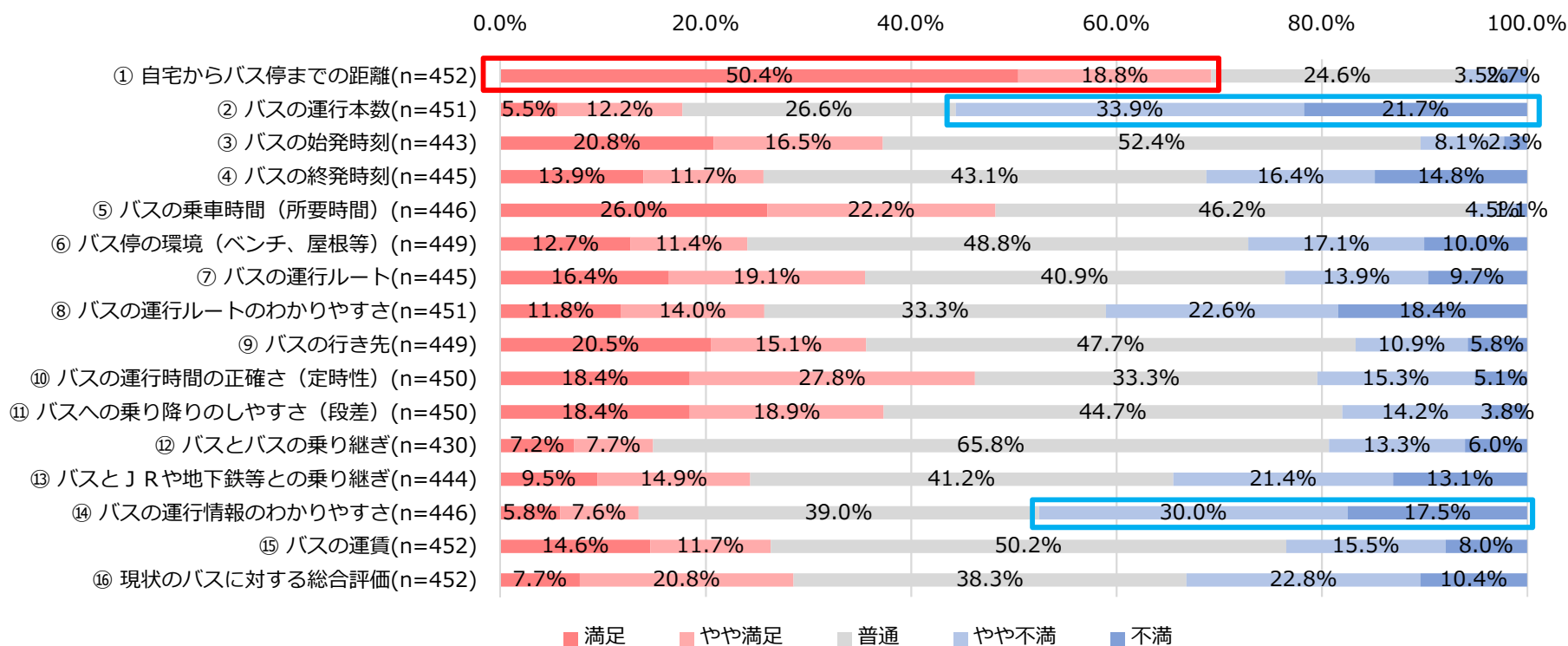


2 分析結果 【2 バスの利用について】

（問9） 現状の満足度（SA）（さんぽまち・東部線）（全体）

- ・回答者の現在のバス利用に関する満足度は、満足、やや満足を合わせた割合が高い項目として、①自宅からバス停までの距離(69.2%)となっている。
- ・不満、やや不満を合わせた割合が高い項目として②バスの運行本数(55.6%)、⑭バスの運行情報のわかりやすさ(47.5%)となっている。

【さんぽまち・東部線の満足度（全体）】

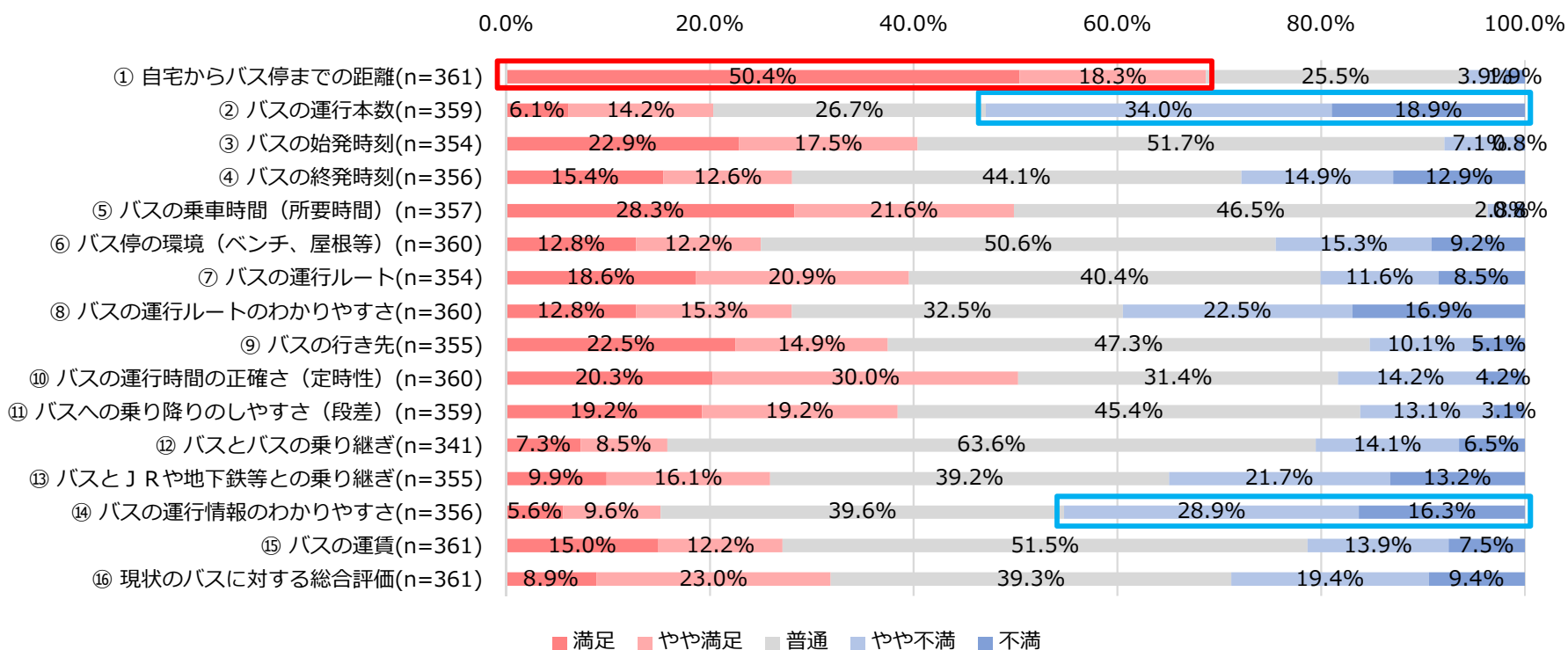


2 分析結果 【2 バスの利用について】

（問9） 現状の満足度（SA） さんぼまち・東部線【北広島団地地区】

- ・回答者の現在のバス利用に関する満足度は、満足、やや満足を含めた割合が高い項目として、①自宅からバス停までの距離(68.7%)となっている。
- ・不満、やや不満を含めた割合が高い項目として②バスの運行本数(52.9%)、⑭バスの運行情報のわかりやすさ(45.2%)となっている。

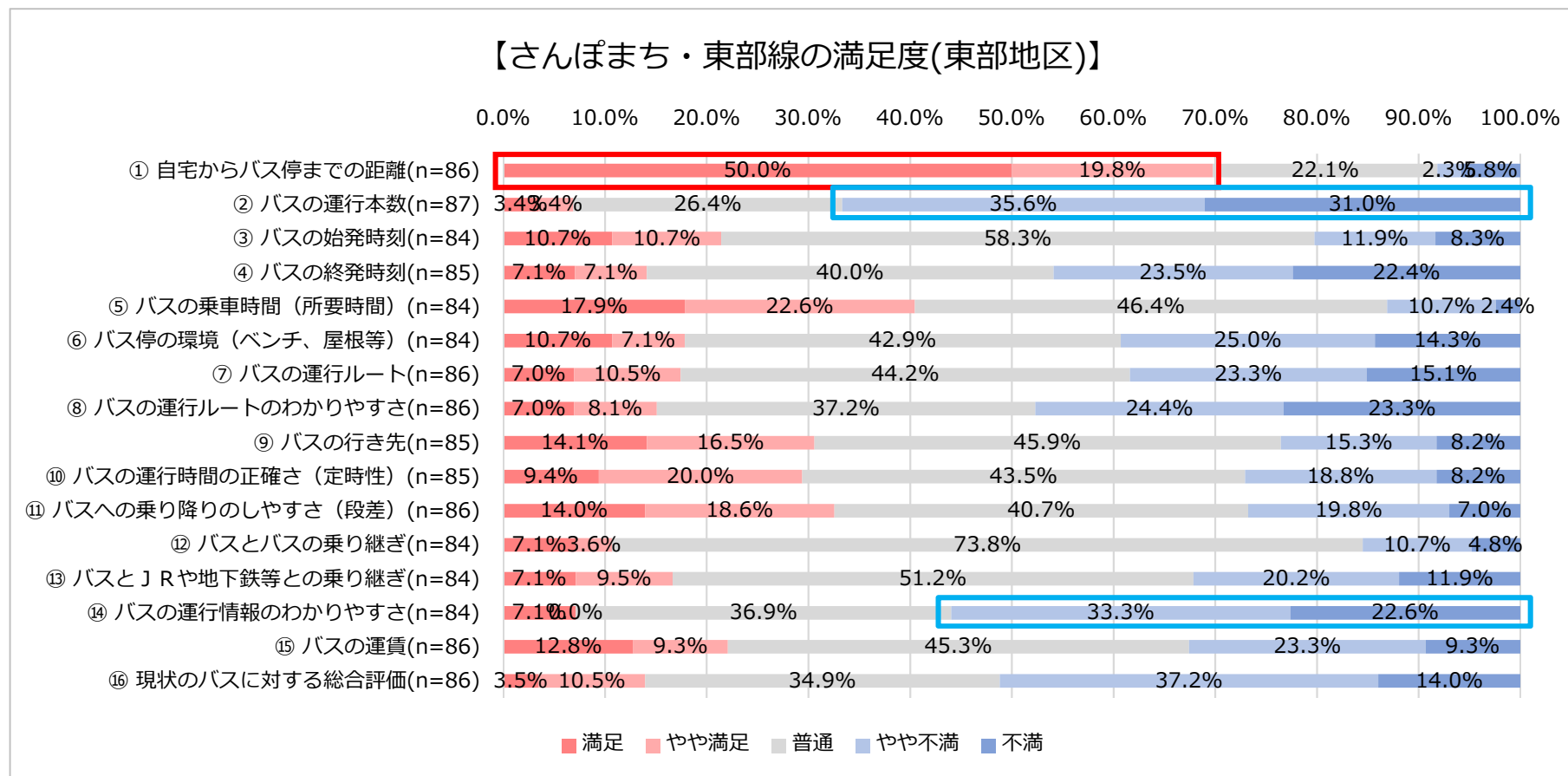
【さんぼまち・東部線の満足度(北広島団地地区)】



2 分析結果 【2 バスの利用について】

（問9） 現状の満足度（SA） さんぽまち・東部線【東部地区】

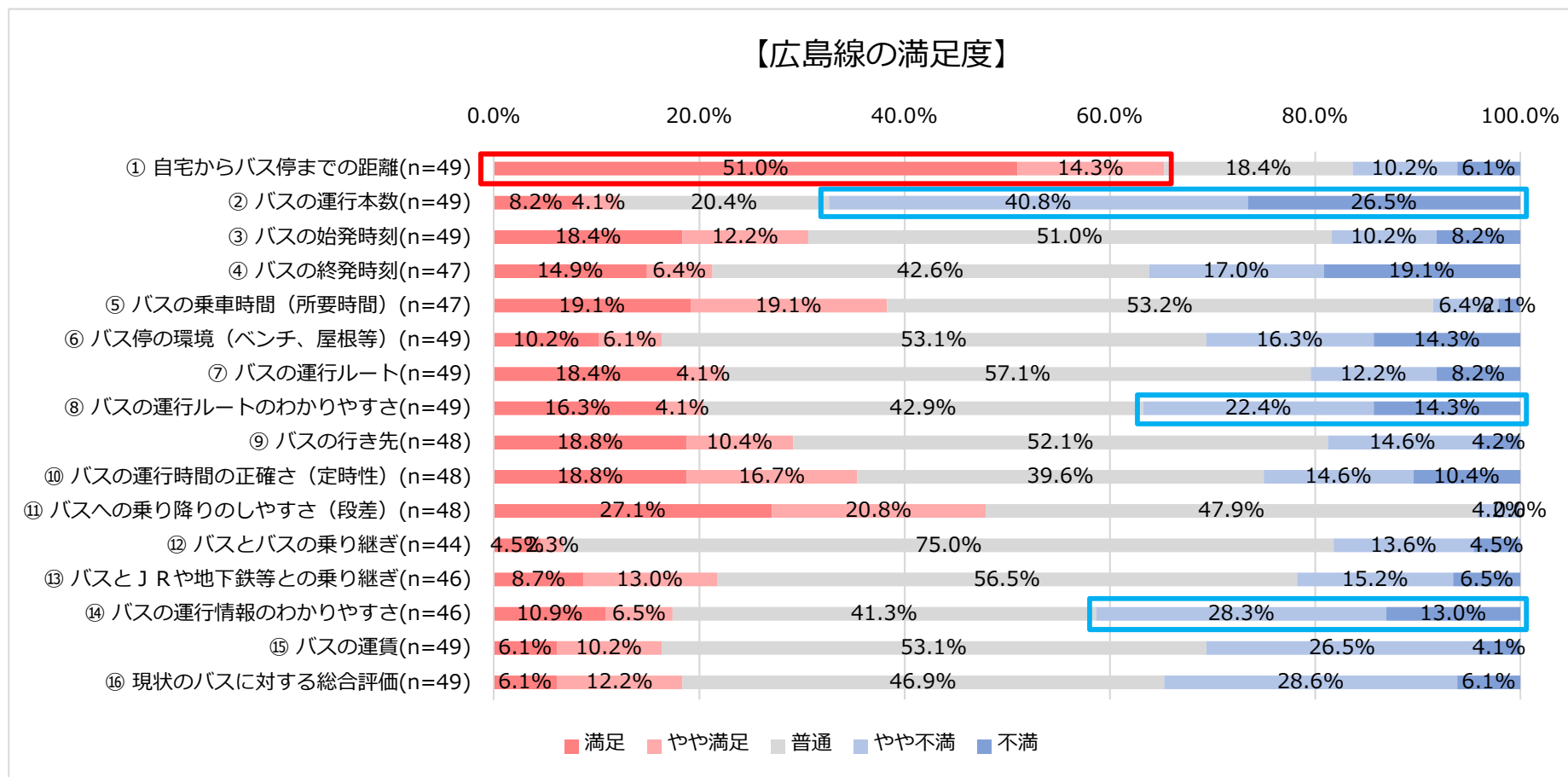
- ・回答者の現在のバス利用に関する満足度は、満足、やや満足を合わせた割合が高い項目として、①自宅からバス停までの距離(69.8%)となっている。
- ・不満、やや不満を合わせた割合が高い項目として②バスの運行本数(66.6%)、⑭バスの運行情報のわかりやすさ(55.9%)となっている。



2 分析結果 【2 バスの利用について】

(問9) 現状の満足度 (SA) (広島線)

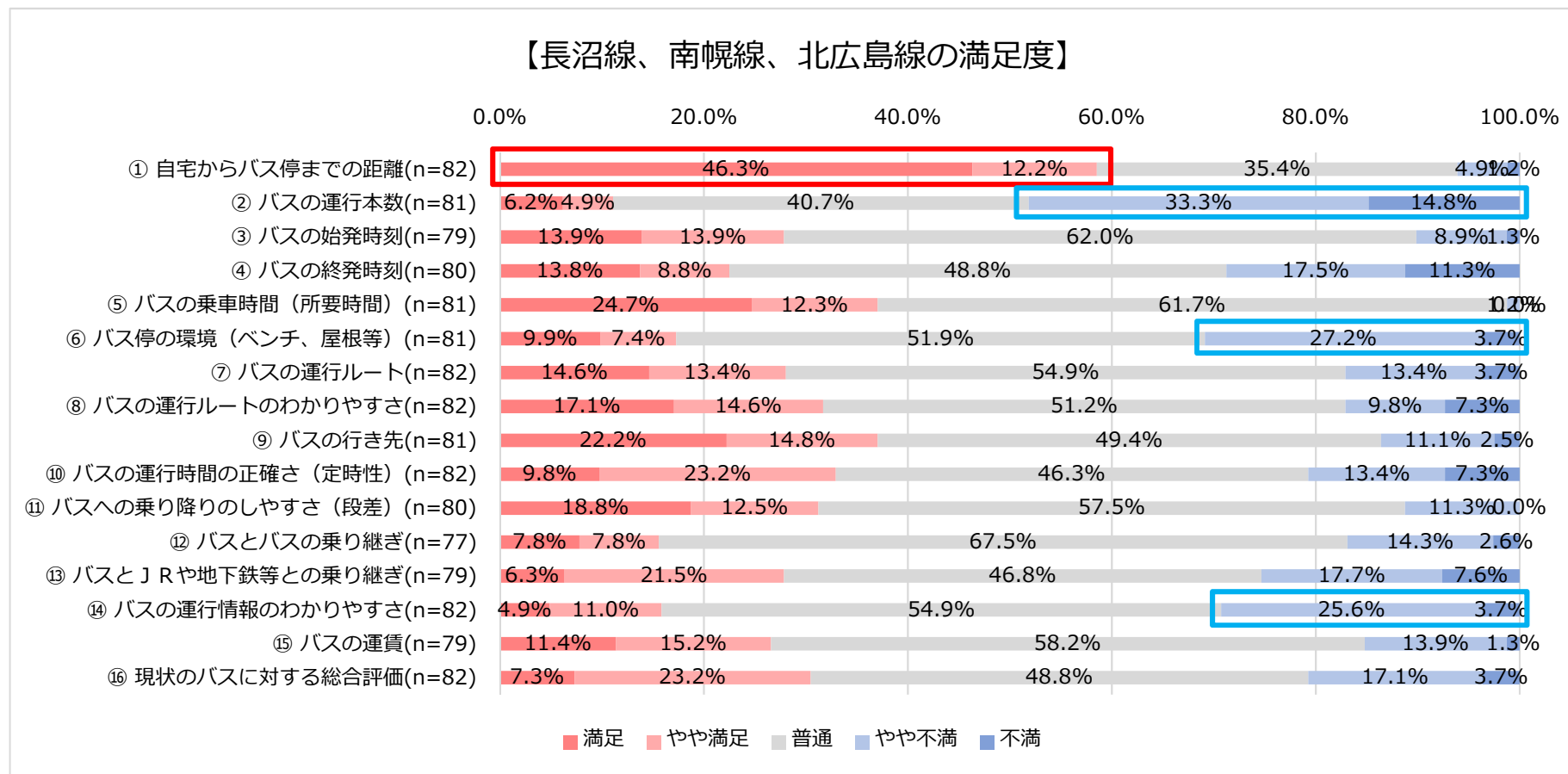
- ・回答者の現在のバス利用に関する満足度は、満足、やや満足を合わせた割合が高い項目として、①自宅からバス停までの距離(65.3%)となっている。
- ・不満、やや不満を合わせた割合が高い項目として②バスの運行本数(67.3%)、⑭バスの運行情報のわかりやすさ(41.3%)、⑧バスの運行ルート(36.7%)となっている。



2 分析結果 【2 バスの利用について】

（問9） 現状の満足度（SA）（長沼線、南幌線、北広島線）

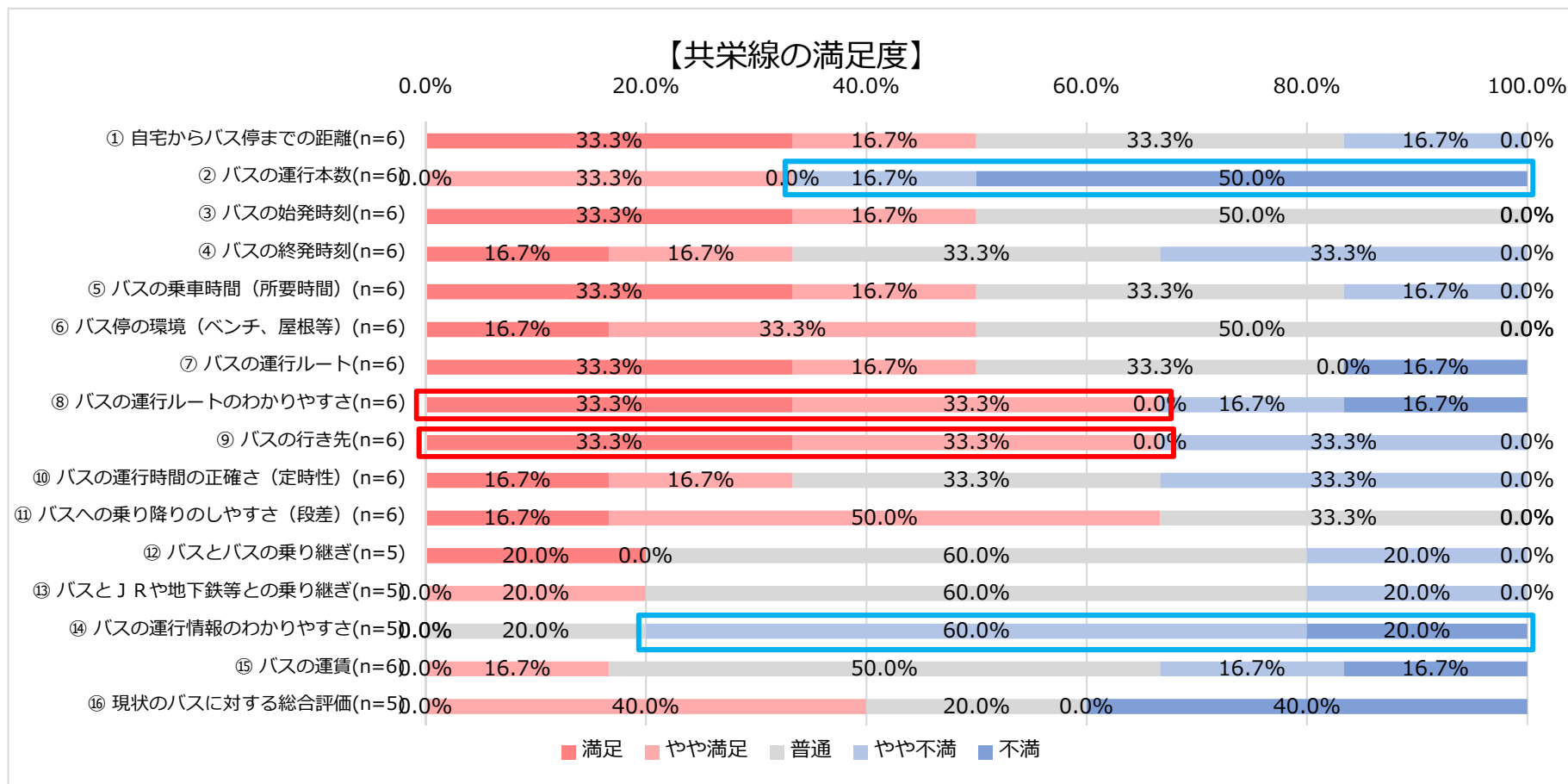
- ・回答者の現在のバス利用に関する満足度は、満足、やや満足を合わせた割合が高い項目として、①自宅からバス停までの距離(58.5%)となっている。
- ・不満、やや不満を合わせた割合が高い項目として②バスの運行本数(48.1%)、⑥バス停の環境(ベンチ、屋根等)(30.9%)、⑭バスの運行情報のわかりやすさ(29.3%)となっている。



2 分析結果 【2 バスの利用について】

(問9) 現状の満足度 (SA) (共栄線)

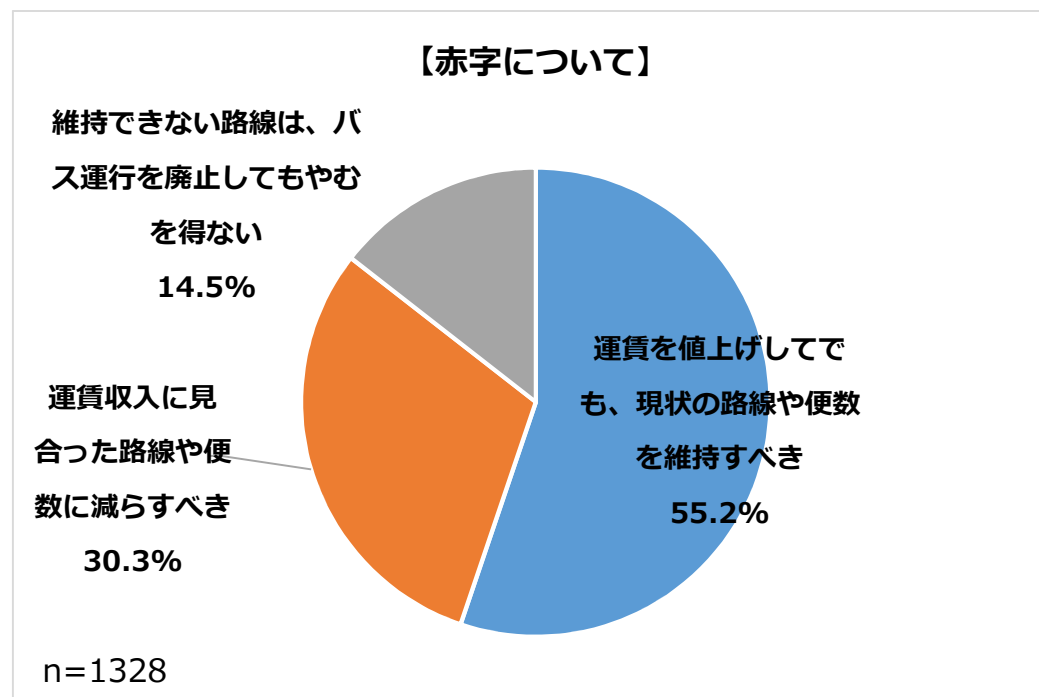
- ・回答者の現在のバス利用に関する満足度は、満足、やや満足を合わせた割合が高い項目として、⑧バスの運行ルートのわかりやすさ(66.6%)、⑨バスの行先 (66.6%)となっている。
- ・不満、やや不満を合わせた割合が高い項目として、⑭バスの運行情報のわかりやすさ(80.0%)、②バスの運行本数(66.7%)となっている。



2 分析結果 【2 バスの利用について】

(問10) 現状のバス路線に対する考え (SA) (全体)

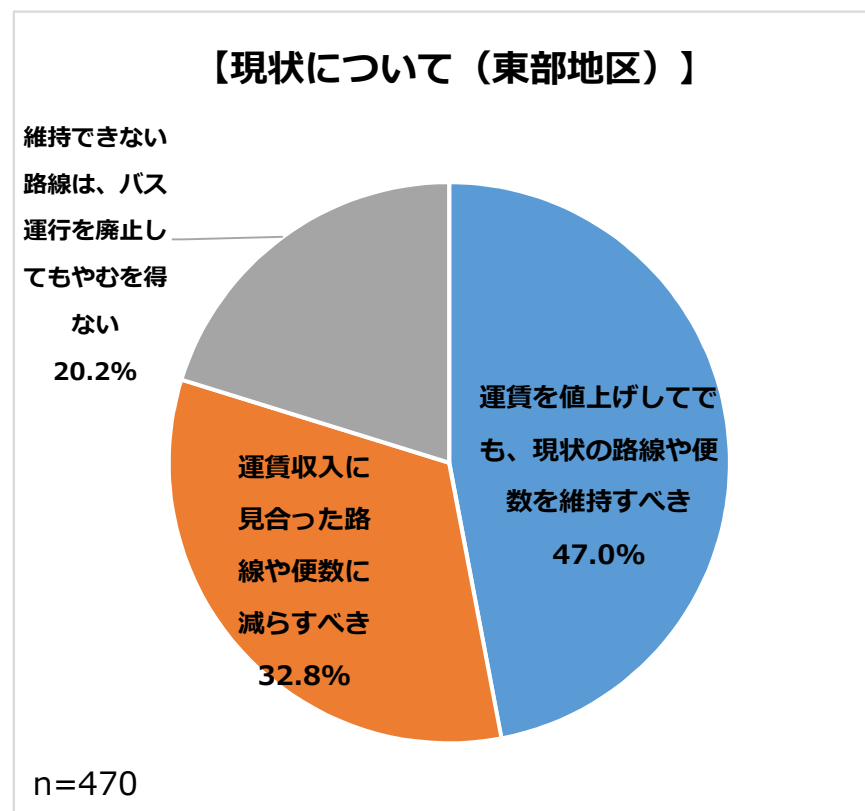
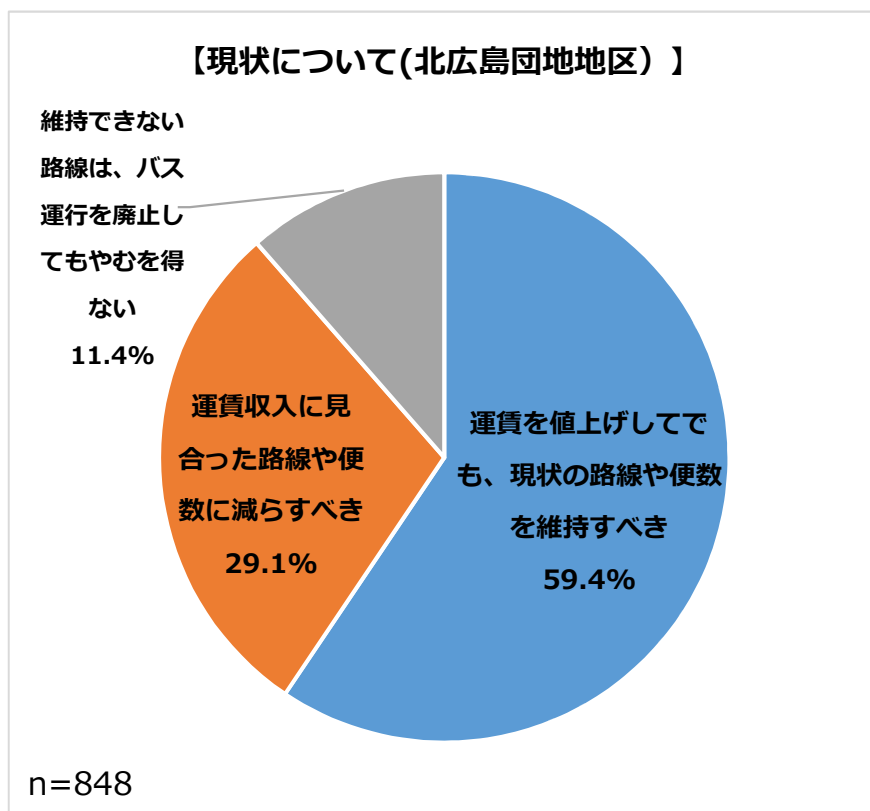
- ・回答者の現状のバス路線に対する考えについては、運賃を値上げしてでも、現状の路線や便数を維持すべき(55.2%)となっており、次いで、運賃収入に見合った路線や便数に減便すべき(30.3%)となっている。



2 分析結果 【2 バスの利用について】

(問10) 現状のバス路線に対する考え (SA) (地区別)

- ・北広島団地地区は、運賃を値上げしてでも、現状の路線や便数を維持すべき(59.4%)が最も多く約6割となっている。
- ・東部地区は、運賃を値上げしてでも、現状の路線や便数を維持すべき(47.0%)が最も多くなっており、その割合は北広島団地より低い。

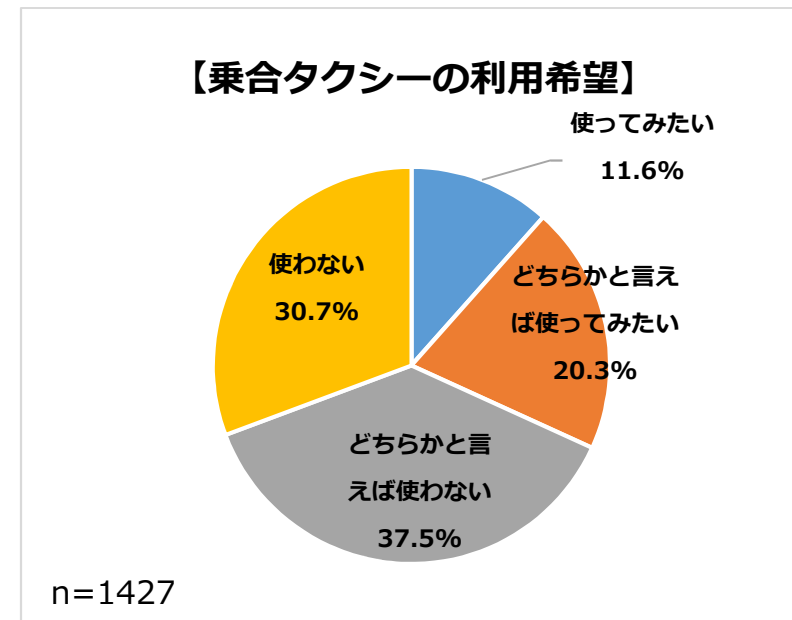
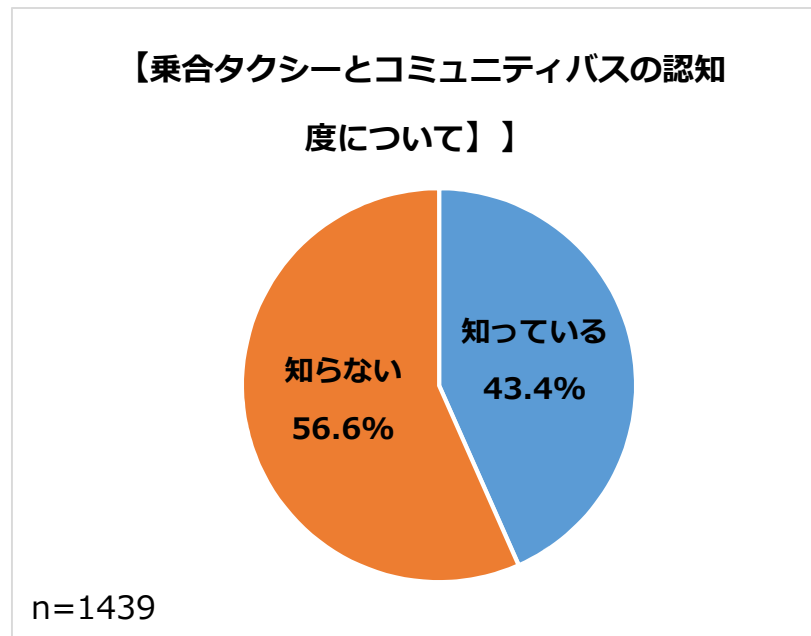


2 分析結果 【2 バスの利用について】

(問1 1) 「乗合タクシー」、「コミュニティバス」の認知度について (SA)

(問1 2) 「乗合タクシー」を利用してみたいか (SA) (全体)

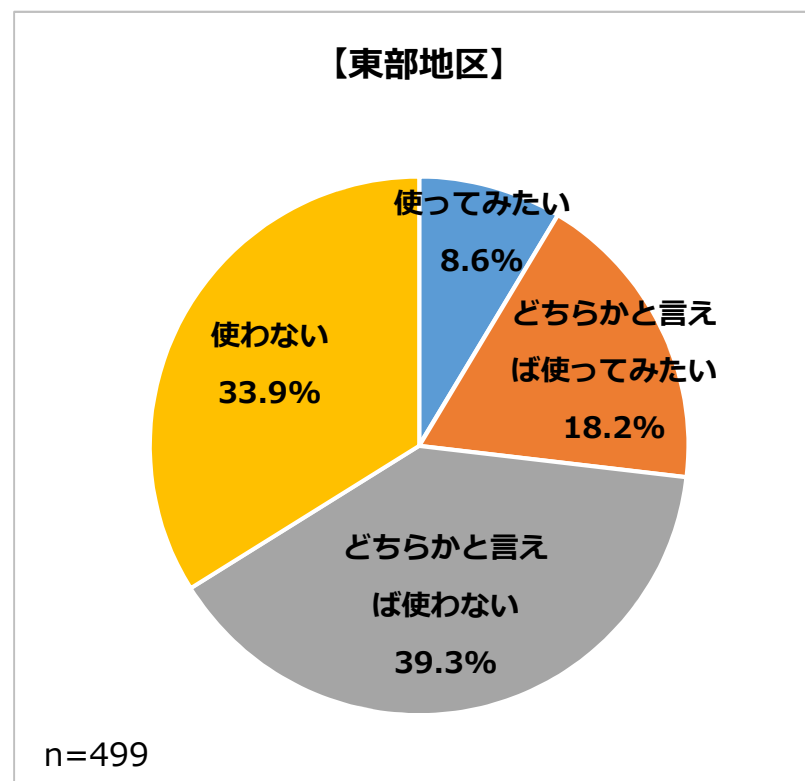
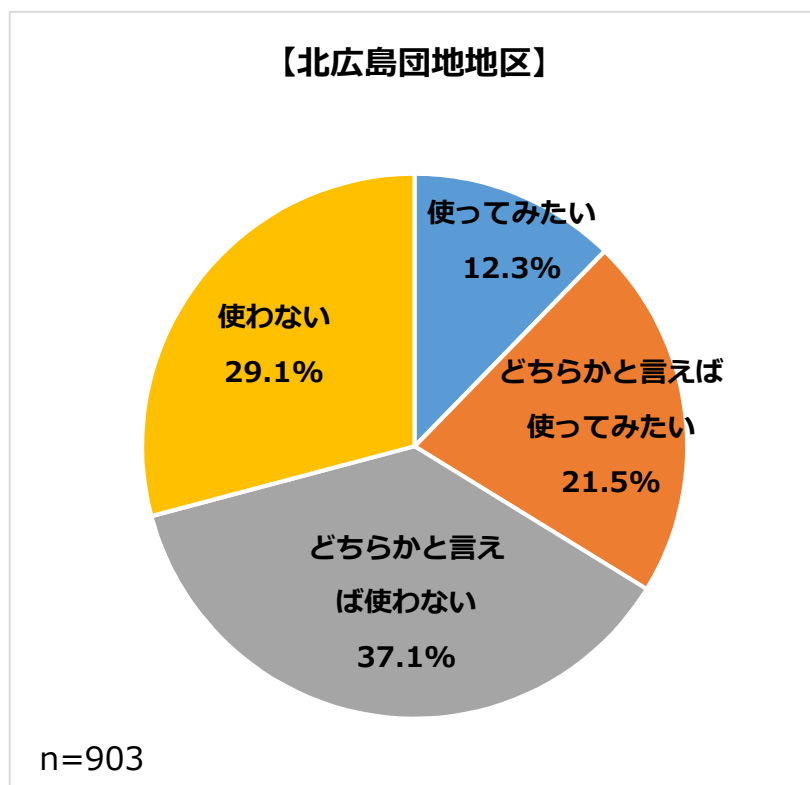
- ・回答者の「乗合タクシー」と「コミュニティバス」の認知度については、知らない (56.6%)、知っている (43.4%) となっており、知らない割合が半数を超えている。
- ・回答者の「乗合タクシー」の利用希望については、どちらかと言えれば使わない (37.5%) が最も多く、次いで、使わない (30.7%) と使わない割合が約7割となっている。



2 分析結果 【2 バスの利用について】

(問12) 「乗合タクシー」を利用してみたいか (SA) (地区別)

- ・北広島団地地区については、どちらかと言えば使わない(37.1%)が最も多く、次いで、使わない(29.1%)となっている。
- ・東部地区については、どちらかと言えば使わない(39.3%)、が最も多く、次いで、使わない(33.9%)となっている。

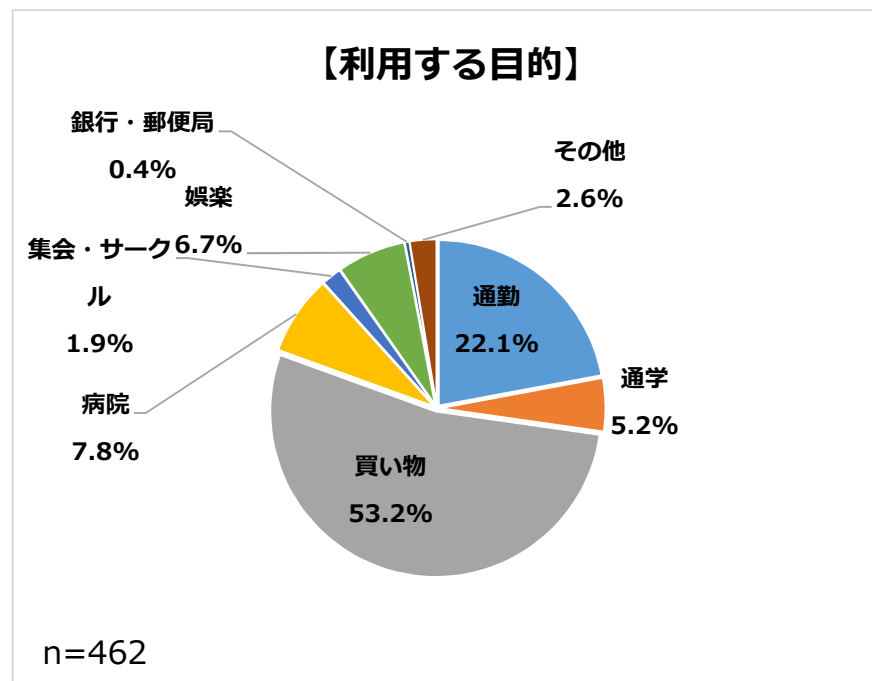
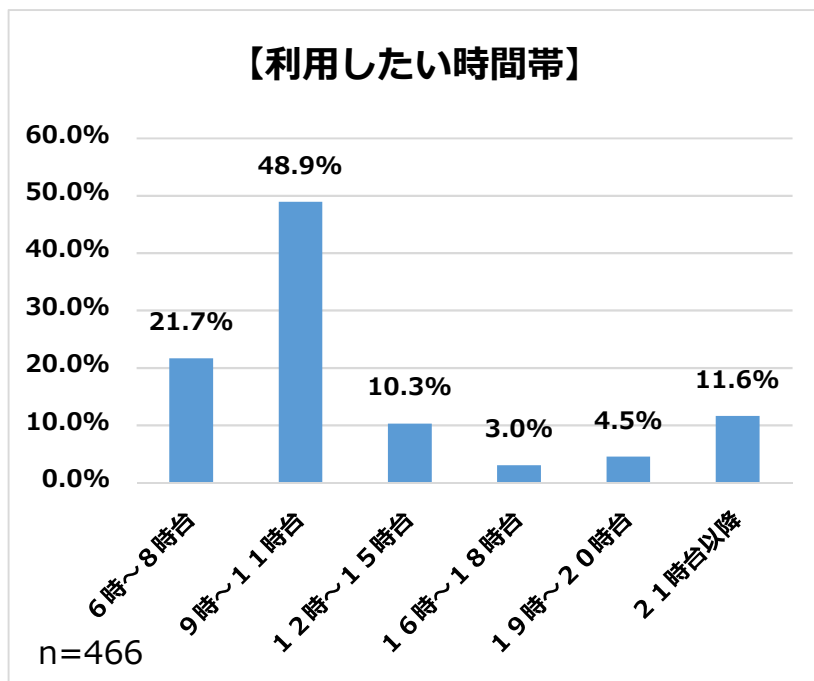


2 分析結果 【2 バスの利用について】

(問13-1) 乗合バスを導入した場合利用したい時間帯 (MA)

(問13-2) 乗合バスを導入した場合使用する目的 (MA)

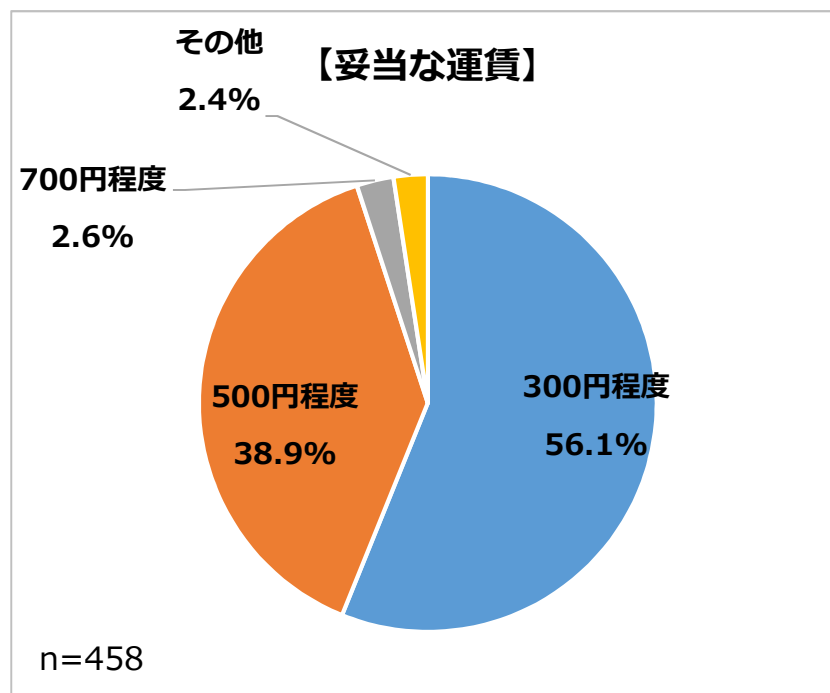
- ・回答者の利用したい時間帯は、9時～11時台 (48.9%) が最も多く、次いで、6時～8時台 (21.7%) となっている。
- ・回答者の利用する目的は、買い物(53.2%) が最も多く、次いで、通勤 (22.1%) となっている。



2 分析結果 【2 バスの利用について】

(問13-3) 妥当な運賃 (SA)

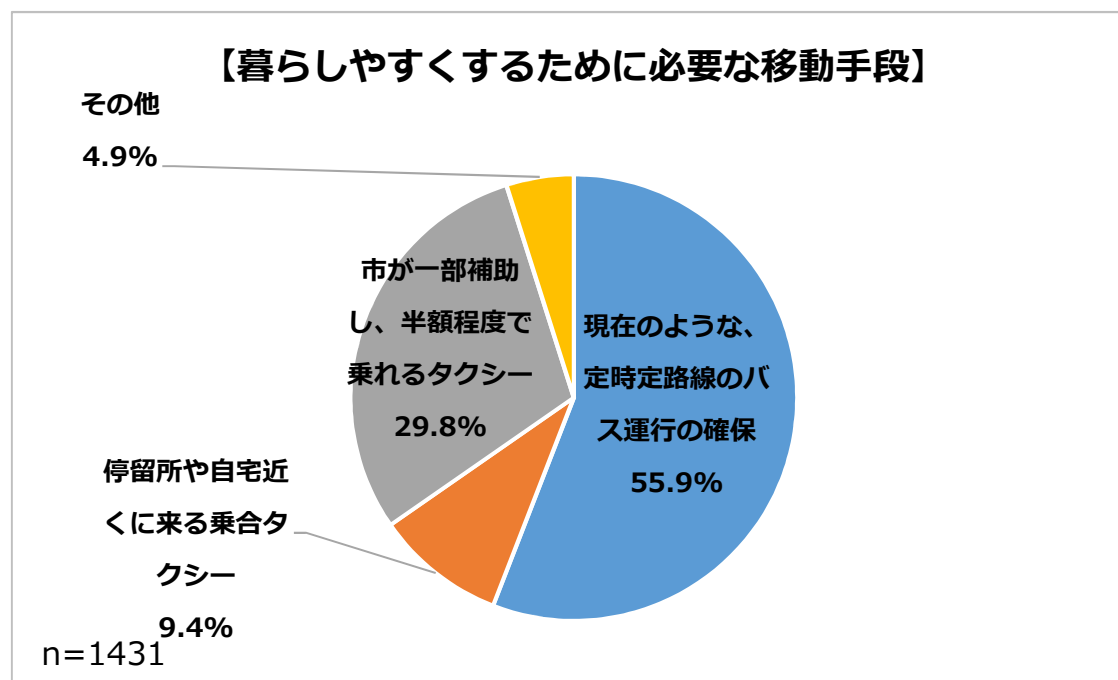
・妥当な運賃については、300円程度 (56.1%) が最も多く、次いで500円程度 (38.9%) となっている。



2 分析結果 【2 バスの利用について】

（問14）車や運転免許証がなくても、暮らしやすくするために必要な移動手段（SA）（全体）

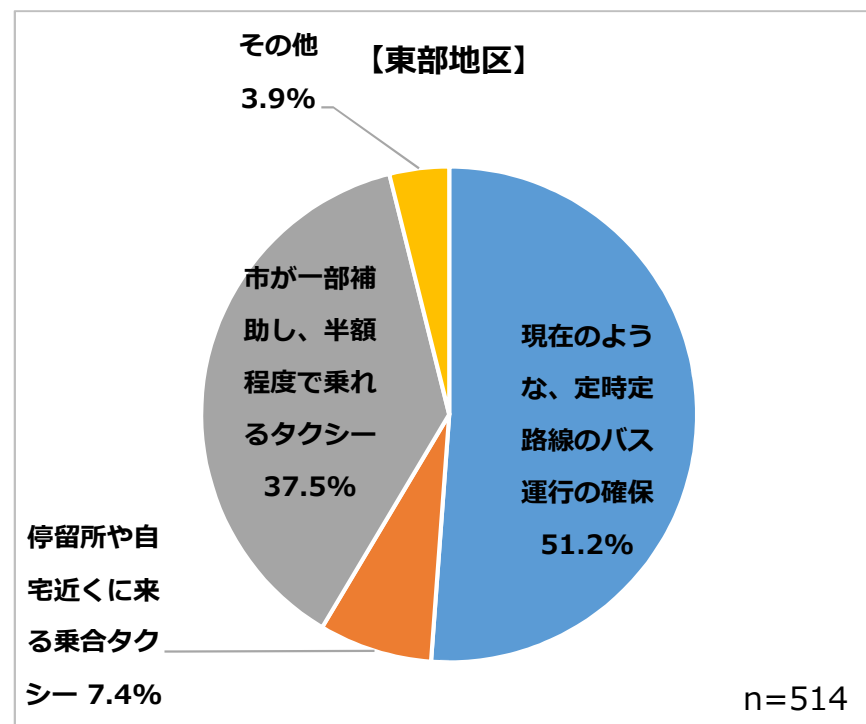
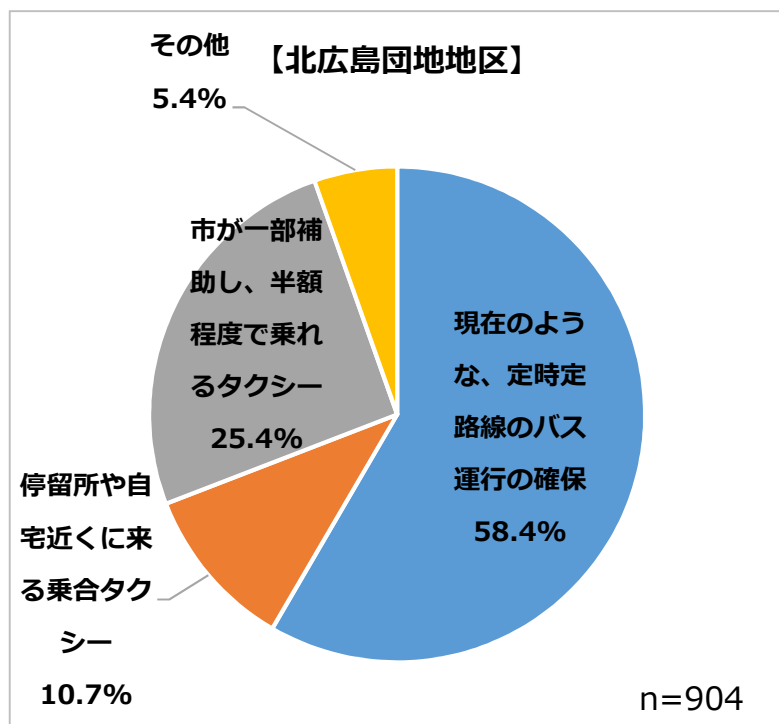
・車や運転免許証がなくても、暮らしやすくするために必要な移動手段については、現在のよ
うな定時定路線のバスの運行の確保（55.9%）が最も多く、次いで、市が一部補助し、半額程
度で乗れるタクシー（29.8%）となっている。



2 分析結果 【2 バスの利用について】

(問14) 車や運転免許証がなくても、暮らしやすくするために必要な移動手段 (SA) (地区別)

- ・北広島団地地区については、現在のような定時定路線のバスの運行の確保(58.4%)が最も多く、次いで、市が補助し、半額程度で乗れるタクシー(25.4%)となっている。
- ・東部地区については、現在のような定時定路線のバスの運行の確保(51.2%)が最も多く、市が補助し、半額程度で乗れるタクシー(37.5%)となっている。



2 分析結果 【2 バスの利用について】

(問14) 車や運転免許証がなくても、暮らしやすくするために必要な移動手段 (SA)

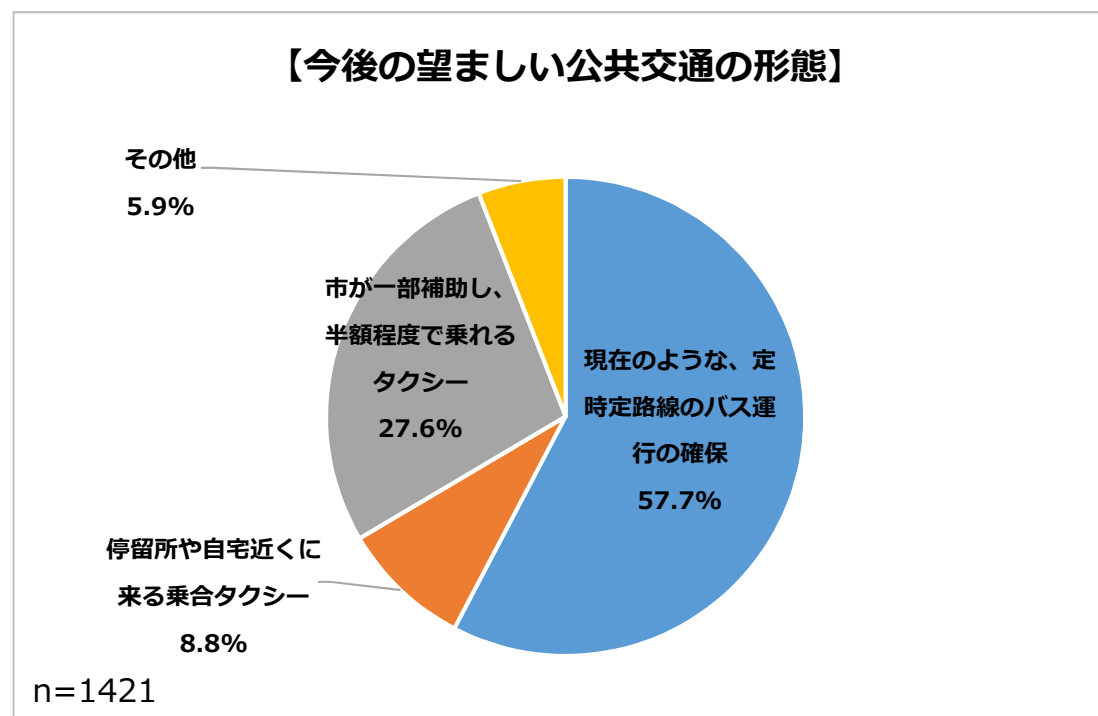
【その他の意見(一部抜粋)】

- ・市が運行するコミュニティバス
- ・定時バスと乗合タクシーの両立
- ・小さなバスにして本数を増やす
- ・小型バスの導入で現在程度かそれ以上の定時増
- ・自宅前までくるオンデマンド乗合バス
- ・低額の循環福祉バス等の公平性と利便性による運行
- ・バス料金と同程度で乗れるタクシー

2 分析結果 【2 バスの利用について】

(問15) 今後の望ましい公共交通の形態 (SA) (全体)

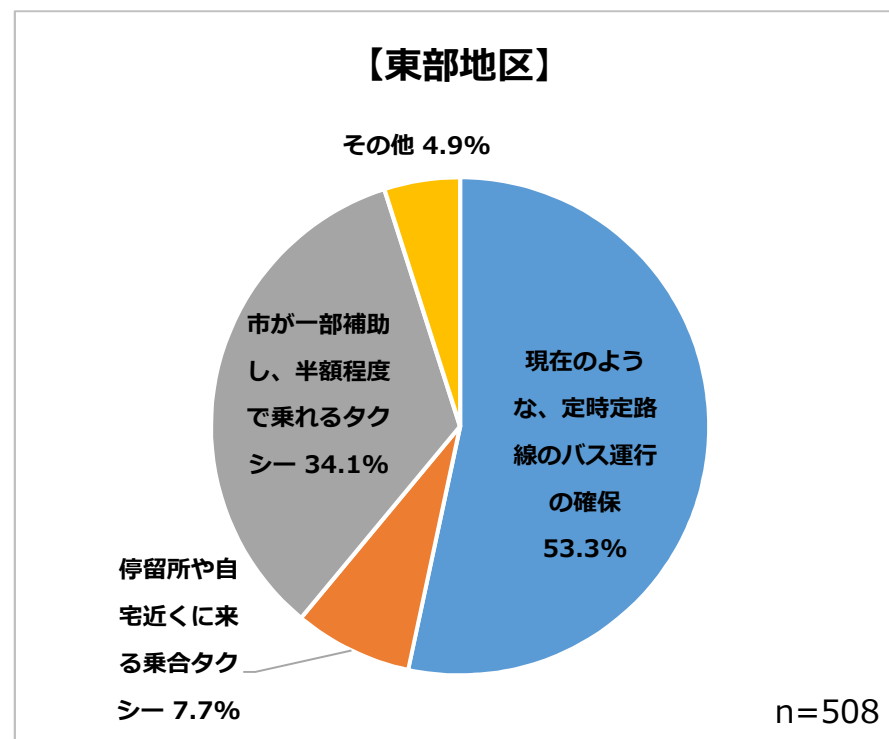
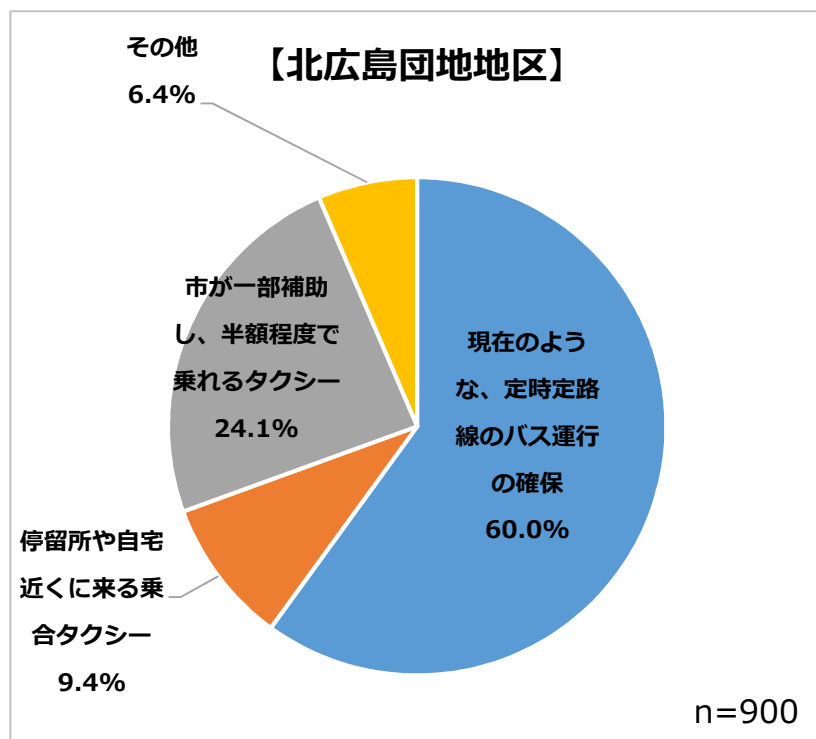
・今後の望ましい公共交通の形態として回答者の考えに近いものは、現在のような定時定路線のバス運行の確保(57.7%)が最も多く、次いで、市が補助し半額程度で乗れるタクシー(27.6%)となっている。



2 分析結果 【2 バスの利用について】

(問15) 今後の望ましい公共交通の形態 (SA) (地区別)

- ・北広島団地地区については、現在のような定時定路線のバス運行の確保(60.0%)が最も多く、次いで、市が補助し半額程度で乗れるタクシー(24.1%)となっている。
- ・東部地区については、現在のような定時定路線のバス運行の確保(53.3%)が最も多く、次いで、市が補助し半額程度で乗れるタクシー(34.1%)となっている。



2 分析結果 【2 バスの利用について】

(問15) 今後の望ましい公共交通の形態 (SA)

【その他の意見(一部抜粋)】

- ・市が運営する市内のみのコミュニティバスで、住宅街も走るようなもの。
- ・小型バスを使っての定時定路線のバス運行
- ・通勤通学時間帯以外は大型バスは必要ないと思う
- ・コミュニティバス
- ・現在よりも増便したバス運行

2 分析結果 【2 バスの利用について】

(問16) 自由意見

【一部抜粋】

- ・ 運転免許の返納に伴い、頼りは公共交通と思うので、市が補助をしてでも、確保してほしい。運賃の値上げはできるだけ抑えてほしいというのが本音。
- ・ 年々高齢化が進み、健康上の理由でバスの利用ができない方もいらっしゃるかと思います。バス路線と乗合タクシーまたは、半額程度で乗れるタクシーが利用できる方向で検討していただけたらと思います。
- ・ 運行路線が変わりわかりづらくなり、利用が減りました。駅までの利用が多かったので、直で駅に行くバスの本数が減ったように思います。時刻表がわかりづらいです。
- ・ 高齢になってきたので、足が丈夫なうちはなるべく歩き、一部タクシーを利用するつもりですが、バスは今はほとんど乗らないけど、路線がわからない。足があまり歩けなくなれば、停留所が近い乗合タクシーは利用したいと考えます。
- ・ BP構想で盛りあがりのある中、団地地区では、空き家も目立ち、コンビニの閉店もあり、閑散としている。買い物や病院などの利用も駅周辺に集中、一極化しているため、不便を感じるが、解消の一つとして交通の利便性を高めてほしい。
- ・ コロナの件もあるので、乗合タクシーについては、利用したいとは思いませんが、収束した際には考えたいと思います。
- ・ バスの便数が少ないので、子どもの習い事等の車での送迎が必須です。送迎ができない状況 = 習い事を続けられないになるので、もう少し選択肢が増えるとうれしいです。
- ・ 以前は中央バスも利用していたけど、循環になってから不便になり一切利用しなくなった。周りにも同じ意見の人がほとんどです。
- ・ 便数が減り不便になってしまいましたが、できるだけ利用しています。将来年とったら必要不可欠になるので、どうか維持していただきたいと思います。運賃値上げしてもいいです。